



武蔵野市第五期長期計画・調整計画

無作為抽出市民ワークショップⅡ

(平成 26 年 11 月 29 日・12 月 6 日開催)

報 告 書



武 蔵 野 市

目 次

§1	ワークショップ討議結果報告	
1	目的	3
2	位置づけ	3
3	事業概要	4
4	ワークショップ	
	(1) 出された意見(得票順、上位3位まで)	
	①「健康・福祉」分野	5
	②「子ども・教育」分野	5
	③「文化・市民生活／緑・環境」分野	6
	④「都市基盤／行・財政」分野	6
	(2) 出された意見(グループ別)	
	①「健康・福祉」分野	7
	②「子ども・教育」分野	11
	③「文化・市民生活／緑・環境」分野	13
	④「都市基盤／行・財政」分野	18
§2	ワークショップ実施状況報告	
1	当日の進行	25
2	使用したシート等	26
3	ワークショップの状況	27
4	参加者の状況及びアンケート分析	29
	資 料	
1	参加不承諾者のアンケート集計結果と分析	45
2	その他資料	
	(1) ワークショップのご案内	55
	(2) 承諾書	59
	(3) 不参加者対象アンケート	60
	(4) ワークショップへのご案内(再送付)	61
	(5) 参加承諾者への通知	61
	(6) 見学のルール	62



ワークショップ^o討議結果報告



1 目的

武蔵野市では、昭和 46 年の第一期長期計画から、策定委員会を中心とし、市民参加・議員参加・職員参加によるいわゆる「武蔵野市方式」により策定を行ってきた。

第五期長期計画・調整計画の策定についてもこの「武蔵野市方式」を継承するが、4年前の第五期長期計画の策定時から新たな試みとして始まったのが無作為に抽出された市民によるワークショップである。当時は無作為抽出でワークショップを行うこと自体が市として初の試みだったが、現在は他の個別計画の策定等の場面においても、市民の意見を伺う手法の一つとしてたびたび取り上げられている。

本ワークショップは、第五期長期計画・調整計画策定過程で行うもので、これまで市政などに参加の機会が無かった多くの市民にも参加いただき、多様な意見をいただくとともに、今後の市政参加のきっかけの一助になることを目的として行ったものである。

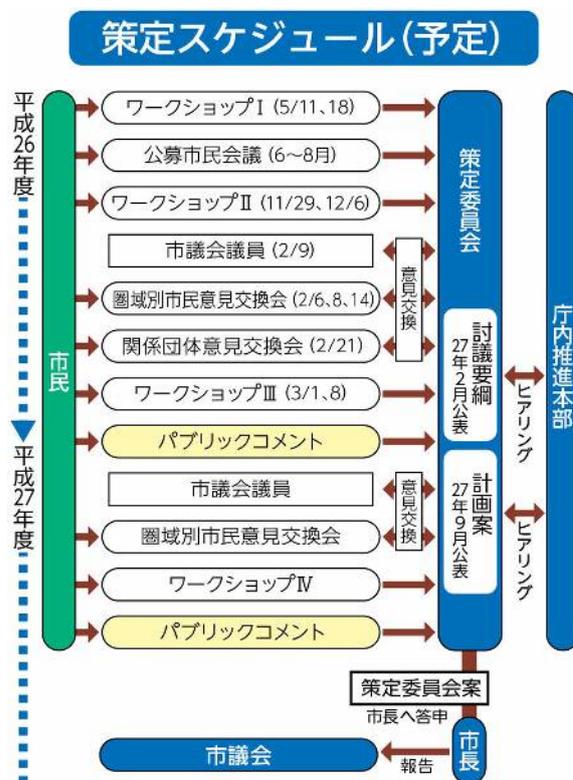
2 位置づけ

第五期長期計画・調整計画の策定にあたっては、平成 26 年 6 月に公募市民会議が設置され、8 月末には市内在住の有識者、市民会議より選出された市民及び副市長により構成される策定委員会が設置され、計画策定に向けた議論が進められている。

5 月に実施した第 1 回無作為抽出市民ワークショップの報告書は、市民会議及び策定委員会において議論の資料のひとつとして提出されており、今回のワークショップの成果についても同様に策定委員会へ報告している。

今後は、無作為抽出市民ワークショップだけでなく、圏域別市民意見交換会や関係団体意見交換会などさまざまな市民参加の機会を設け、広く市民の意見を求めていく。

なお、第五期長期計画・調整計画の策定スケジュールの全体像は右表のとおりであり、次回のワークショップは、討議要綱（計画策定のためのたたき台として、議論すべき課題等についてまとめたもの）をテーマとして平成 27 年 3 月に実施する予定である。



▲第五期長期計画・調整計画の策定スケジュール

3 事業概要

- (1) 日 時 平成 26 年 11 月 29 日 (土)・12 月 6 日 (土) 13:00~17:00
- (2) 会 場 武蔵野市役所西棟 8 階 811 会議室
- (3) 対象者 平成 26 年 9 月 30 日現在、武蔵野市の住民基本台帳に登録のある年齢 18 歳以上の市民から無作為に抽出した市民 1,000 人及び前回ワークショップ I (平成 26 年 5 月実施) の参加者 85 名
- (4) 参加承諾者数 新規参加者: 64 名 (1 日目 56 名、2 日目 54 名)
前回参加者: 39 名 (1 日目 37 名、2 日目 34 名)
合計: 103 名 (1 日目 93 名、2 日目 88 名)
- (5) 参加者数 1 日目: 73 名 (うち前回参加者 28 名)
2 日目: 61 名 (うち前回参加者 25 名)
(両日参加: 53 人、1 日目のみ参加: 20 人、2 日目のみ参加: 8 名)
- (6) テーマ 「武蔵野市が望ましい都市になるためにはどのようなことが必要か
市民意識調査のアンケート結果から、武蔵野市の未来を考える」
- (7) 実施分野 1 日目: 「健康・福祉」「子ども・教育」分野
2 日目: 「文化・市民生活、緑・環境」「都市基盤、行・財政」分野
※第五期長期計画の施策の体系に沿い、4 つの分野に分けて実施した。
- (8) 討議の方法 4~5 人のグループに分かれて自由討議。
途中 1 回メンバーチェンジを行った後、元のグループに戻り、グループごとに意見を 3 つまとめて発表。
最後に全員で投票をし、順位付けを実施。
- (9) 謝 礼 1 日につき 4,000 円 (クオカード)
- (10) アンケート回収数 参加者アンケート 1 日目: 68 件、2 日目: 60 件
参加不承諾者アンケート 276 件
- (11) 託児数 1 日目: 5 名、2 日目: 2 名
- (12) 見学者数 1 日目: 4 名、2 日目: 4 名
- (13) 事務日程
- | | |
|---------------|---|
| 9 月 30 日 (火) | 無作為抽出基準日 |
| 10 月 24 日 (金) | 対象者 1000 名宛に参加案内通知を発送 (11 月 12 日 (水) 締切) |
| 11 月 7 日 (金) | 未返信者に督促ハガキ送付 (825 通) |
| 11 月 12 日 (水) | 参加承諾書返信期限 |
| 11 月 18 日 (火) | 参加承諾者へ通知ハガキを発送 (定員に達しなかったため抽選せず) |
| 11 月 28 日 (金) | 不参加者アンケート提出期限 |
| 11 月 29 日 (土) | ワークショップ 1 日目: 「健康・福祉」「子ども・教育」分野 |
| 12 月 6 日 (土) | ワークショップ 2 日目: 「文化・市民生活/緑・環境」
「都市基盤/行・財政」分野 |

4 ワークショップ

(1) 出された意見（得票数順、上位3位まで）※文字及び文章は原文のまま表記しています。

①「健康・福祉」分野

順位	グループの意見	得票数
1	終末医療・治す医療でなく看とって下さる医療も充実させてもらいたい	11
2	ムーバスの路線及び時刻表を通院しやすいものにする。	9
3	聞き取り苦い防災無線にかわる非常災害情報伝達を工夫してほしい。	8
3	空き地、空き家の有効利用。住民が世代を越えて自由に集えるサロン。	8
3	地域的・閉鎖的なコミセンを誰でも参加しやすい開放的なものに。	8
3	医療機関の充実（武蔵野市立病院の建設）	8
3	多様な立場・年代の人々間の互助システム・インフラの構築。	8
3	夜の活用、土日の活用！交流・つながりを求めて若人も社会人も参加する。 (コミセンについて)	8

医療に関する意見が多く票を獲得する結果となった。近隣市区や在宅医療との連携についての意見もあがっていた。

また、市からの情報伝達についての意見が複数のグループから出されており、得票数は分散しているものの参加者の関心が高いことが分かった。中でも災害時の情報伝達については、改善を要望する意見が多く寄せられた。

②「子ども・教育」分野

順位	グループの意見	得票数
1	誰もが働きやすくするための保育サービスの提供	22
2	中高生の自転車マナー向上の為、市がルール講習・実演を学校で行う。	10
3	小学生の通学路を安全にする為市が交通指導員を立たせる。	8
3	市が条例でできることを整理する。道路行政、駅周辺の交通規制など。	8

子育て世代の女性が多く集まったグループから出された保育サービスに関する意見が、2位の2倍以上の得票数を得て1位となった。子育て支援に対する関心が高いことがうかがえる。

一方で、自転車マナーをはじめとした交通についての意見も多く見受けられた。「子どもの安全」という視点から、交通ルールや自転車マナーなどの議論に発展していったと想定される。

③「文化・市民生活／緑・環境」分野

順位	グループの意見	得票数
1	市民農園の増加 利用していない農地の活用（市の取得 or 貸借）	12
2	コミュニケーションの採りやすいまち（防災訓練や祭等の場を提供し顔の見える関係を築く）	10
3	次世代を担う子供達に真の芸術に触れる様市在住の芸術家に支援をあおぐ	8

農地（市民農園）についての意見が1位となったが、複数のグループから防犯・防災をキーワードにした意見が出ており、類似意見を集計すると最も多かった意見は防犯に関するものだった。健康・福祉分野においても多くの票を集めていたことから、防犯・防災は参加者の関心が非常に高いテーマであることがうかがえる。

また、ワークショップ開催時期が12月初旬であったことが影響したのか、落ち葉清掃や樹木の管理についての話題も議論のテーマとなっていた。

④「都市基盤／行・財政」

順位	グループの意見	得票数
1	若者に長く住んでもらう（・保育所増設 ・家賃補助）	17
2	農地の保全。武蔵野ブランドの育成の積極的支援を市が行う。	16
3	コミセン等施設の活用方法等の見直し。さらなる広報の充実。	8
3	吉祥寺駅周辺の整備 駅前広場（北口・南口）の拡張等バスターミナル	8

若い世代が定住するような施策の要望が1位となり、同様の意見は他のグループからも出されていた。定住のためには、保育サービスの充実や財政の安定が必要との意見であった。

都市基盤については駐輪場の増設や電線の地中化を望む意見が複数出されていたが、事後アンケートにおいて「電線地中化や自転車レーンの整備にいくらかかるのか知りたい」との記載もあり、財政状況を踏まえた議論ができるよう、次回のワークショップの際には詳細な資料や情報提供ができるようにしておく必要があると考えられる。

(2) 出された意見 (グループ別)

(※文字及び文章は発表用模造紙に記入されていた原文のまま表記)

①「健康・福祉」分野 <発表用シート>

No. 1	「健康・福祉」分野		作業スペース (他に出了意見など)
メンバー	マルサン 押田さん 城さん あおきさん 川原さん 中村さん		<ul style="list-style-type: none"> ・ムーバスの逆回りは無理ですか？ ・私立病院を作ってほしい ・一人暮らしの老人のきんきゅうブザー!! ・コミセンなどの施設が若い人には利用しにくい。平日だけのイベントだけではなく、土日に若い人向けのイベントなどをやってほしい。 ・本来面倒をみるべき市民に対してケアする⇒<u>長期に住んでいる市民など</u> 長く住んでいる人
選択テーマ： 福祉、医療、防災施設の充実と活用			
まとめ	グループ意見	投票欄	
(1つ 30字程度 3つまで)	福祉・コミュニティ施設を有効利用するためのソフト面を充実させる	●●●	
健康・福祉分野得票数3位	聞き取り苦い防災無線にかわる非常災害情報伝達を工夫してほしい	●●●●● ●●●●●	
	空き地、空き家の有効利用。住民が世代を越えて自由に集えるサロン。	●●●●● ●●●●●	
残した意見	ムーバス運行の工夫。		

No.	「健康・福祉」分野		作業スペース (他に出了意見など)
メンバー	高野 村井 杉浦 北 磯部		<ul style="list-style-type: none"> ・子供が元気に育つ町
選択テーマ： 新しいコミュニティ作り			
まとめ	グループ意見	投票欄	
(1つ 30字程度 3つまで)	地域的・閉鎖的なコミセンを誰でも参加しやすい開放的なものに。	●●●●● ●●●●●	
健康・福祉分野得票数3位	イベントやヴォランティアなどの情報を集約したコンシェルジュの存在。	●●●●● ●	
	防災情報の発信情報の充実。	●●	
残した意見	・空き家の活用		

No. 3	「健康・福祉」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	松田、川上、蒔苗、井村、岡村		
選択テーマ： 使い易い病院網の構築			
まとめ	グループ意見	投票欄	
(1つ 30字程度 3つまで)	各エリアで各種病院の所在地がわかる 立て看板を建てて欲しい。	●●	
	ムーバスの路線及び時刻表を通院しやすいものにする。	●●●●● ●●●●● ●	
	近所の病院と近隣市町村を含め連携できる病院を増やす。	●●●●● ●	
残したい意見	防災無線を聞き易くして欲しい。		

健康・福祉分野得票数2位

No. 4	「健康・福祉」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	榎本 木村 百瀬 石丸 木下		
選択テーマ： 必要な行政サービスが必要な時に受けられる			
まとめ	グループ意見	投票欄	
(1つ 30字程度 3つまで)	医療機関の充実 (武蔵野市立病院の建設)	●●●●● ●●●●●	
	ムーバス運行の充実 ・ 路線を増設 ・ 逆ルートの新設	●●●●● ●●●●	
	社会的弱者が不安を感じず生活出来る街	●●●●●	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さな空き地が転在しています。有効活用してほしい。 ・ 道路案内地図や自転車標識が整備されていて歩いたり走ったり安全に出来る ・ コミセンの活用→地域のつながりの為に ・ 障害者施設の新設 ・ 自転車のマナーが悪い。高齢者も子供を連れたママも怖い ・ 雨の日の自転車対策 ・ 防災アナウンスが聞きとりにくい 		

健康・福祉分野得票数3位

No. 5	「健康・福祉」分野		作業スペース（他に出た意見など）
メンバー	松田 駒井 さとう 溝渕 八木 厚村		①市で行っているイベントを若い人が利用しやすいようにアプリなどで配信する。
選択テーマ： 人と人がつながる街づくり			
まとめ （1つ 30字程度 3つまで）	グループ意見	投票欄	市報を、もっと見やすいデザインにする。
	市の行っている活動を、もっと可視化する。	●●●●	コミセンの活用方法を考える。 <u>コミセンの可能性に期待!!!</u>
	受けとる側も（住民側も）、アンテナを広げる。	●●●●● ●	
健康・福祉分野得票数3位		多様な立場・年代の人々間の互助システム・インフラの構築	
残したい意見	・月1回程度吉祥寺などで、食事会・飲み会（住民どうしで）をやる ・空き家を利用した市民サロンなどで住民同士がつながるといい ・ポイント制のボランティアのシステムをつくる		

No. 6	「健康・福祉」分野		作業スペース（他に出た意見など）
メンバー	ちなつ タケウチ 吉田 コビナタ 古庄 はやし		目的・主旨→
選択テーマ： コミセンをより活用する！			
まとめ （1つ 30字程度 3つまで）	グループ意見	投票欄	・自治会がないので地域の課題解決
	市報、コミセン便りを見る。知る事から初めよう。勇気をもってドアノック。	●●	・コミセンの目的 知らなかった
	オープンなコミュニティをつくって行く。5人を集めて自分から活動する。	●	・市報をもっと見よう！
健康・福祉分野得票数3位		夜の活用、土日の活用！交流・つながりを求めて、若人も社会人も参加する。	・もっとオープンなコミュニティ
残したい意見	・老壮（老人クラブ） ・高令者センター みどり町 ・いきいきセミナー ・交流 ・色々な会を知る。防災組織 青少協 福祉の会等 地域を知る事 ・武蔵野プレイス ミニの要素		・世代を越えたコミュニティ ・夜の活用 ・土日のイベントをもっとつくろう
			今の課題は… ・担い手が高令化している ・自主運営となっている。 ・会社員や若人▲ ・入りにくい ・知らないコトが多すぎる。 ・グループが出来上ってしまっている

No. 7	「健康・福祉」分野		作業スペース (他に出了意見など) ・コミセンを利用しにくい。(条件が合わない)
メンバー	田村 内藤 後藤 松本 小野 会澤		
選択テーマ： 老後への不安を感じないで生活できる街			
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	
	地域のつながりを深めるために、コミセンのあり方を考える。(テンミリオンなども)	●●●●● ●●	
	中核病院、在宅医療の確保と充実を。ホームドクターを決めよう。	●●●●● ●●	
	防災組織の設立。防災無線の改善、ムーバス路線の見直しなど。	●●●●● ●●●●	
残したい意見	町内の小さな単位での防災組織を作る。 (ボランティアの積極活用)		

No. 8	「健康・福祉」分野		作業スペース (他に出了意見など)
メンバー	野村 佐藤 平賀 向井 上野 吉田		
選択テーマ： 老後とはかぎらず不安を感じないで健全に生活できる町づくり			
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	
	防災情報を迅速かつ聞き取り易く伝達してほしい 現状(車)は聞き取りにくい	●●●●● ●●●●	
	コミセンを住民の交流と健康づくりとして有効活用してほしい	●●●●● ●●	
	週末医療・治す医療でなく看とって下さる医療も充実させてもらいたい	●●●●● ●●●●● ●●●●	
残したい意見	自転車のマナーを守ってほしい		

健康・福祉分野得票数1位

※グループ No. 9 は欠番

②「子ども・教育」分野 <発表用シート>

No. 10	「子ども・教育」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	本田 原田 松村 芦田 岡野 内山		
選択テーマ： 安全、安心な街			
まとめ	グループ意見	投票欄	
子ども・教育分野得票数2位	中高生の自転車マナー向上の為、市がルール講習、実演を学校で行う。	●●●●● ●●●●● ●●	
子ども・教育分野得票数3位	小学生の通学路を安全にする為市が交通指導員を立たせる。	●●●●● ●●●●●	
	市が安全な3車線を確保する。 (車、自転車、歩行者)	●●	
残した意見	・幼稚園の補助・助成金について ・働く女性と高齢者に優しい町に (シルバー人材センターの内容拡充)	・世代間で皆が声かけできる安心安全なまち ・保育サービスサポート (一次保育)	

No. 11	「子ども・教育」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	じゅん 金井 柿原 武田 吉安		
選択テーマ： めざせ自転車のまち武蔵野市			
まとめ	グループ意見	投票欄	
子ども・教育分野得票数3位	市が条例でできることを整理する。道路行政、駅周辺の交通規制など。	●●●●● ●●●●●	
	自転車のマナー向上に、全市をあげて取り組む。行政のできることも多い。 例 歩行者の日・自転車の日といった施策はどうか。	●	
残した意見	・自転車皆保険 ・公共交通機関との共生		

☆理念：武蔵野市は面積も狭く、坂のない街であり、自転車に適した地域で『コンパクトシティ』の理想を実現するのに有利である。これを生かさない手はない。
*オランダ等の手本がすでにある。

No. 12	「子ども・教育」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	にしおさん ふじむらさん ふるたさん マキさん もりいさん やまのうちさん		
選択テーマ： 親も子ども暮らしやすい街			
まとめ (1つ 30字程度 まで)	グループ意見	投票欄	
	誰もが働きやすくするための保育サービス の提供	●●●●●● ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●● ●●	
残したい意見	犯罪と無縁の街にする為の対策の強化		
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な「初めて」に出会える街（異文化交流、世代間交流、コミセンの企画充実など） ・相互理解不足 コミュニケーションの場がない →その充実が安心・安全につながる 		

子ども・教育分野得票数1位

No. 13	「子ども・教育」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	小林 ピーター 秋本 神戸 オクマ スノウチ		
選択テーマ： より安心安全な街			
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	
	家族で学んで守る自転車ルールとマナー。	●●●	
	世代間で皆が声かけできる安心安全な街。	●●	
残したい意見	子供が集まって遊ぶ場所の充実		
残したい意見	自転車のルールや免許 警察の取り締まり強化		
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市報と葉書でルール改正や講習会のお知らせ。講習会受講者には自転車に受講済シールを貼る。 ・公園の管理をもっとしてほしい（せんてい、落ち葉） ・地域のつながり（保育園とのたすけあい）自治会をつくる ・子供の安全を見守る高齢者の活用 ・放課後教育の充実（支援他） ・子供を安心して預けられる場所の設置（特に未就学児） ・挨拶の徹底 不審者は挨拶を嫌がる ・サンロード、中道通りに保育サービスを ・異世代・異文化交流 		

No. 14	「子ども・教育」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	あおき あらした おこのぎ ひらおか やすだ		
選択テーマ： 異世代で暮らす安心安全な街づくり			
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	
	市が市民向けサービスの IT 化を行う (コミセンのネット予約等)	●●●●● ●	
	市が部署を横断した対応をできる課をつくる(老人、子供、防犯、国際交流)	●	
	市民が世代間を越えた相互理解のため、教宣活動を行う	●●●●● ●	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・老人ホームや施設での訪問・体験学習を増やす(小・中・高) ・国際(異人)交流 マッチング役 ・緑が多い環境を生かした教育を行い、地域にとけこむ 		

③「文化・市民生活／緑・環境」分野 <発表用シート>

No. 1	「文化・市民生活／緑・環境」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	秋本、小野、向井、岡野、奥間		
選択テーマ： 住みやすく住み続けたいまち			
まとめ	グループ意見	投票欄	
	コミュニケーションの採りやすいまち (防災訓練や祭等の場を提供し顔の見える関係を築く)	●●●●● ●●●●● ●●	
	緑の多いまち(市民農園の有効活用と拡大)		
	お互いを気づかうまち (マナーの向上)	●	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園の継続利用(需要と供給のバランスはどうか?) ・世代間交流の場をつくる。(学生等20代の若者等巻き込む方策の検討) 		

文化・市民生活
緑・環境分野
得票数2位

- ・健康年齢日本一のまち
- ・高齢者を外に出す政策&場の提供
- ・路上喫煙に罰金を
- ・マナーの普及啓発(犬のフン、自転車、道路のゴミ、挨拶)
- ・公共施設の利便性の改善(図書館、体育館、プールなど)
- ・全ての人が必要とする支援を受けられて楽に安全に暮らせるまち
- ・樹木管理を強化(遊歩道落葉)
- ・行政サービスについてよくわからない
- ・平和、人権、男女共同参画が根づいたまちづくり
- ・コミセン 閉鎖的で使いづらい

No. 2	「文化・市民生活／緑・環境」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	北 あおき じゅん ひらが		
選択テーマ： 美しく安心・安全な街			
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	
	景観：電柱の地中化、看板・自販機の規制、樹木の管理	●●●●	
	防犯：防犯カメラ・街灯の増設、自転車レーンの整備とマナーの徹底	●●●● ●	
	防災：災害の事前対策の充実、地域コミュニティの充実	●●●● ●●	
残したい意見	・行政からの情報伝達（情報難民の救済）		

No. 3	「文化・市民生活／緑・環境」分野		作業スペース (他に出た意見など) ・犯罪防止 防犯カメラ設置（バス VOICERECORD）
メンバー	古田 岡村 牧 石丸		
選択テーマ： 緑 農地を育む街づくり			
まとめ	グループ意見	投票欄	
	市民農園の増加 利用していない農地の活用（市の取得 or 貸借）	●●●● ●●●● ●●●●	
	市保有地（空き地）の緑化（小さな空き地を花壇に活用）	●●●●	
	落葉対策 落葉隊を結成する（小中学校課外活動として）	●●●	
残したい意見	世代間交流が少なすぎる →どうやって地域活動に入って行ってもらおうか？ 災害の時、誰が助けてくれるのか？		

文化・市民生活
緑・環境分野
得票数1位

No. 4	「文化・市民生活／緑・環境」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	希 やすだ 佐藤 押田 野村		
選択テーマ： 緑が豊かで安全・安心な街づくり			
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	
	防犯カメラと該当の設置で犯罪の抑止をはかる	●●●● ●●	
	樹木と緑の管理と落葉の処理は行政に委ねるか、自主管理にするべきか。	●●	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園の拡大 ・空地の有効活用 (市の所有地) 		

No. 5	「文化・市民生活／緑・環境」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	竹内 小酒井 芦田 松田		
選択テーマ： マナーの普及・啓発			
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	
	周囲に煙がもれないタイプの喫煙所の設置	●●●● ●●	
	個人のゴミの出し方。ゴミのポイ捨て等、マナー向上の対策。		
	二人乗り・傘・スマホ利用・スピード違反等・違反乗車の取締まり強化。	●	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ①タバコのすいから ③マナーの普及啓発 特に自転車について 携帯電話 傘をさしての乗車 		

No. 6	「文化・市民生活／緑・環境」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	百瀬 磯部 高野 田村		・⑥マナーの普及啓発 歩きたばこ 自転車
選択テーマ： 明るいやさしい住みやすい街			
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	・ゴミのない所にはゴミはすてにくい。ゴミが放置されているとゴミを捨てやすくなってしまおうという心理を利用できないものか
	電柱のない街（電線の地中化） 歩道を広くして歩きやすい歩道（災害時・自転車対策）	●●●●● ●	・自転車のマナーの問題で武蔵野市内においてシルバー人材などの人を活用してその方たちにある程度の力を持たせて大きな辻・交差点などにおいてルールを守らせるようにする
	防犯カメラ街灯の設置と災害時等のアナンス 防犯対策、災害時対応	●●●●● ●	・この効果はシルバー人材の人達への利益と、皆さんがルールを守りはじめると違反をすることがはずかしいことだと思わせる効果を期待出来ると思います。
残したい意見	・地域格差の是正（コミセン・交通の便）の増線、駅・市役所への便が悪い。 ・マナーの普及啓発（環境に関する）	ムーバス	・道路をひろげるとか電柱をうめるとかなり金額がかかってしまいますが一つ一つ出来ることからとり組めば少しずつよくなると思います まず1つには ・吉祥寺を若者の街にしてほしくない 外からへんな外人が入ってきている 治安が悪くなってくる ・美しい街では自然にマナーが良くなりみんなが住みやすくなる（ニューヨークなど） ・⑥（例）アトレの中で階段などにすわりこんでいる人 どこでもすわりこんでる人

No. 7	「文化・市民生活／緑・環境」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	丸山 井村 石田 吉田		・全ての人が必要とする支援を受けられ楽しく安全に暮らせるまち
選択テーマ： 防犯・防災対策が充実し、マナーを守り次世代への文化支援をする街			・小さいうちから本物の文化に触れさせる
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	・防犯カメラ、街灯、IT設備・ケーブルテレビ等を利用した防犯防災のきづな作り
	防犯カメラ・街灯を増設していただきたい。ケーブルTVITの利用促進	●●●●	・次世代をになう子供達への文化支援
	自転車喫煙のマナー向上の為市の条例で権限を与えた人に指導してもらう	●●	・自転車・喫煙のマナー向上のため条例で権限を与えた人に指導してもらう
	次世代を担う子供達に真の芸術に触れる様市在住の芸術家に支援をあおぐ	●●●● ●●●●	・今のうちに自転車のマナーを良くしておかないとどんどん悪くなってしまうのではないか？
残したい意見	一般市民が注意すると角が立つので権限を持った方達の助力をあおぎたい。		
作業スペース (続き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ご近所付き合いがもっと活発になるとよいと思う もう少し公共の方でも手伝ってほしい ・品の良い町 長い目で見る 時間がかかっても ・樹木の管理を強化 減らさない ふやす ・電柱のない街 ・災害に強い街 ・防犯カメラ、街灯の設置を災害時のアナウンス ・ケーブルTVウェブカメラ(保育園)のようすをパソコンで見ることが出来るようになるので、それを独居老人宅で使ってその人の安全確認 ・子供に本物を見せるために市への要望 武蔵野市はお金持ちなのになぜそういうところにお金をかけないのか？ ・世代間の交流 知らない 防災訓練 イベント 助け合える 電線の地中化 場所によってマナーの普及 落ち葉 ・老いると庭木の管理が出来なくなるので相談窓口をつくり裁定してほしい ・マナーの普及啓発(自転車、ゴミ等) ・災害に強い街づくり(緑・農地の緑拡大を含む) ・自転車の呼びんを歩行者にむかってどくようにならすのはどうか？マナーがわかっていない人が多い ・自転車のマナーが悪いので何とかありませんか 		

文化・市民生活
緑・環境分野
得票数3位

④「都市基盤／行財政」分野 <発表用シート>

No. 8	「都市基盤／行・財政」分野		作業スペース（他に出た意見など）
メンバー	広瀬 吉田 神戸 厚村		
選択テーマ：（急変しつつある時代・環境のもとでも） <u>充実した社会基盤のもと、オープンで<u>らしい</u>魅力ある街</u>			
まとめ （1つ 30字程度 3つまで）	グループ意見	投票欄	
	《道路》（電線地中化・バリアフリー・自転車専用路）	●●●●● ●	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水再利用 ・災害時飲料水の確保 ・自転車問題で近隣との連携 ・市政センターの情報を市報に載せてほしい ・駅に市政情報発信のモニター設置 ・環境マネジメントシステムの横展開
	《水と緑》（災害対応と水ブランド都と連携した自転車道）	●	
	《商店街》（個性ある商店誘致・支援・住民外集客）	●●●●●	
残したい意見	市政の情報開示をより一層明示して下さい。 ‘見える化’		

No. 9	「都市基盤／行・財政」分野		作業スペース（他に出た意見など）
メンバー	松田 八木 村井 木下 柿原		
選択テーマ： 緑と水と空のまち			
まとめ （1つ 30字程度 3つまで）	グループ意見	投票欄	
	農地の保全。武蔵野ブランドの育成の積極的支援を市が行う。	●●●●● ●●●●● ●●●●● ●●●●●	<ul style="list-style-type: none"> ・タマ湖サイクロードの延長を ・落葉樹を活用→紅葉のシーズンは観光客をよべる ・みどり・省エネ ・美観に配慮したみんなが集える三駅前づくり ・水を守るために景観条例を使う 多摩川上水を守る ・自転車マナーの向上（武蔵野市独自の自転車免許の導入） ・世代を超えたコミュニティを作るコミセン ・外国観光客にアピールしたとくみを ・古くからの居住者の若い世代が市外へ出て行っている。（若い世代からみて同じ家賃なら23区内の方が良い）
	安全な水資源の有効活用。武蔵野の水の認知度をあげる。		
	財政安定を目指して、若い世代がずっと住み続けられる街に	●●	
残したい意見	<p>★—武蔵野ブランド—</p> <p>水→<u>お酒</u>をつくって売れだそう!!</p> <p>↳まずは梅酒から…？日本酒も!!!</p> <p>・<u>吉祥寺うどの復活!!</u>⇒<u>武蔵野居酒屋</u>をつくろう♥</p> <p>↳コミセンを夜だけ居酒屋にしたら場所代がうく。笑</p> <p>お金じゃなくて、ポイント制。（1時間のボランティアで日本酒1合…とか）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が住み続けるために、 →保育所、学童保育 空き家を市が貸りて、安く若い人にかしだす

都市基盤／
行・財政分野
得票数2位

No. 10	「都市基盤／行・財政」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	コビナタ 榎本 コダマ 武田 コバヤシ		<ul style="list-style-type: none"> ・自転車に関する交通規制 ・駐輪場の場所整備 ● ・自転車道の整備
選択テーマ： 市政センターの運営について			
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	
	市政センター及び自動交付機の設置場所、利用時間などの広報を充実。	●●	
	交付機設置は駅近辺だけでなく、例えば東西地域にも増やしてほしい。		
	交付機の利時間の延長を願いたい。例えばAM7:00～	●●	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市政センター利用場所を市民の利用しやすい場所に ・時間 センターの利用内容について細かな事がわからない ・市政センター時間延長 ・市政センターの場所のわかりやすいビジュアル他された看板等設置 		

No. 11	「都市基盤／行・財政」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	最上 吉安 駒井 さとう		
選択テーマ： インフラ整備における国・周辺自治体との連携の強化			
まとめ (1つ 20字程度)	グループ意見	投票欄	
	道路整備(自転車レーン・歩道の拡幅・電柱地中化段差解消等)	●●●●● ●●	
	吉祥寺駅周辺の整備 駅前広場(北口・南口)の拡張等 バスターミナルの新設(南口)の拡張	●●●●● ●●●●●	
残したい意見	これらは市の緊急の課題だが、その解決には国・都の協力が是非必要である。		

都市基盤／
行・財政分野
得票数3位

No. 12	「都市基盤／行・財政」分野		作業スペース (他に出了意見など)
メンバー	茂木 城 簾内 中村 松本		
選択テーマ： 地域、世代間交流の強化			
まとめ	グループ意見	投票欄	
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> コミセン等施設の活用方法等の見直し。さらなる広報の充実。 </div>	●●●●●	
	駅周辺の駐輪場を増大して欲しい。	●●●●●	
	電柱の地中化。ほ道の整備。防災・景観の向上の為	●●●●	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・空家・空地を利用して小さいコミュニティーをつくる ・外燈のLED化 		

都市基盤／
行・財政分野
得票数3位

- ・コミセン、テンミリオン、居場所づくり
- ・70才を越えたらシルバー人材センターへ
- ・行政サービス 土日にやってほしい
- ・吉祥寺駅バスターミナルの整備
- ・三鷹駅の北口を、発展させる!!

No. 13	「都市基盤／行・財政」分野		作業スペース (他に出了意見など)
メンバー	ふるしょう まきなえ 会沢 かえで		
選択テーマ： 住みやすい街			
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	
	自転車で購入しやすい街 (駐輪場を増やす)	●●●●●	
	若い人にも住みやすい街 (保育所を増やし家賃の補助をする)	●●●●●	
	世代交流が活発なまち (コミセンや空家・空地を有効利用する)	●●	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・人に優しい道路のある街 自転車レーンの設置。 歩道の整備とバリアフリー ・歩行者と自転車に優しい街 ・街の美観 電柱の地中か整備・規則 		

No. 14	「都市基盤／行・財政」分野		作業スペース (他に出た意見など)
メンバー	川原 後藤 藤村 溝渕		
選択テーマ： 社会の変化に対応出来る行財政			
まとめ (1つ 30字程度 3つまで)	グループ意見	投票欄	
	<p>若者に長く住んでもらう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所増設 ・ 家賃補助 	<p>●●●●</p> <p>●●●●</p> <p>●●●●</p> <p>●●●●</p> <p>●●●●</p>	
都市基盤／ 行・財政分野 得票数1位	<p>安全に住む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路のバリアフリー化 ・ 町内防災組織の立ち上げ ・ コミセンの運営見直し 	<p>●●●</p>	
残した 意見	<p>★今すぐできること★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅に図書返却ポストの設置 ・ 駅に証明書発行機の設置 		



ワークショップ実施状況報告

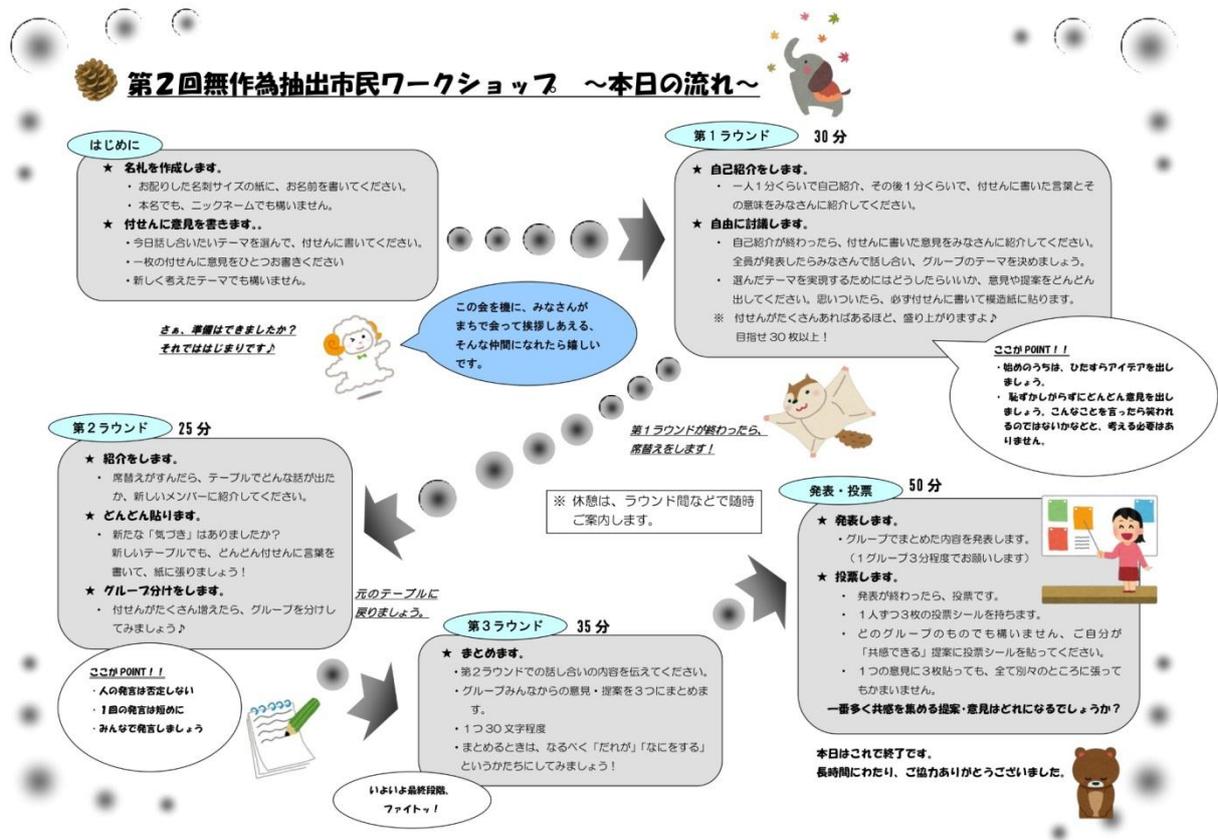


1 当日の進行

時刻	所要時間 (分)	内容	具体的な動き
12:30～		開場・受付開始	①受付時、くじを引きテーブル決定 ②1人は1階で誘導。託児利用者は保育室(和室)へ案内
13:00～13:10	10	オープニング 導入・説明	①市長挨拶 ②1日の流れ説明 ③スタッフ(職員)紹介
13:10～13:25	15	市の現状説明	①武蔵野市民意識調査の概要 ②人口推計 ③財政状況
13:25～13:30	5	話し合いについての説明	
13:30～13:40	10	作業	付せん書き(今回話し合いのテーマ、3つまで)
13:40～14:10	30	関係性を高める 課題の共有 意見の発散	第1ラウンド ①自己紹介及び選んだテーマの発表、話し合い(自由討議) ②グループのテーマ決定 ③解決策についての提案
14:10～14:15	5	移動	メンバーチェンジ (進行係の左隣に座っている人をテーブルホストとして残して、他全員入れ替え、自由に空いている席に行く)
14:15～14:40	25	関係性を高める 新しい発見・ 気づきを得る	第2ラウンド ①テーブルホストから順に自己紹介&第1ラウンドでの話し合いの内容を紹介 ②話し合い(自由討議)&付せん書き
14:40～15:00	20	移動&休憩	メンバーチェンジ(最初のテーブルに戻る)
15:00～15:05	5	説明	第3ラウンドと作業の説明
15:05～15:40	35	新しい情報を共有する 結論を出す	第3ラウンド ①第2ラウンドでの話し合い内容紹介 ②提案をまとめる ・グルーピング→タイトル付け ・キーワード出し ・模造紙上で類似した意見等を集めてそれにタイトルをあてはめる。 ③各意見に説明付け
15:40～16:30	50	意見発表	グループごとに意見発表(1グループ3分)
16:25～16:30	5	投票	
16:30～16:40	10	クロージング①	投票結果の確認(得票数上位3位までのものを紹介)
16:40～16:45	5	クロージング②	閉会の挨拶
16:45～17:00	15	終了	①アンケート記入後、自由解散 ②会場出口にて謝礼

2 使用したシート等

(1) 当日のしおりとして、ワークショップ全体の流れや話し合いのポイントを記載したA3版の資料を配布した。



(2) 発表用のシートは、A1版の模造紙に右の内容を印刷したものを使用した。

グループNo.	「 」 分野	
メンバー		
選択テーマ:		
まとめ (一つ30 字程度 で3つま で)	グループ意見	投票欄
	1	
	2	
	3	
残したい意見		
作業スペース(他に出た意見など)		

(3) その他参考資料として、長期計画の冊子、地域生活環境指標、武蔵野市民意識調査【速報版】をテーブルごとに配布し、意見出しや話し合いの参考にしていただいた。

3 ワークショップの状況

分野・テーブル決め

1日目は「健康・福祉」分野と「子ども・教育」分野のどちらかを受付で選んでいただき、テーブルをくじによる抽選で決定した。その結果「健康・福祉」分野は8グループ、「子ども・教育」分野は5グループとなり、均等にはならなかった。参加者全体の年齢構成は50歳以上が約6割を占めており、「健康・福祉」分野への関心が高い方が多かったことが要因と考えられる。また、各分野のテーブル数が事前に予測できなかったため、運営面において若干の混乱が生じた。

2日目は希望をとらず、分野もテーブルも受付のくじにより決定した。参加者アンケートにおいて、「分野を選ばなかった」という意見が見受けられた一方で、「普段関心のない分野について討議したことで関心をもった」という好意的な意見も出ていた。

武蔵野市における現状の説明

本市における財政状況や今後の人口動態を踏まえた上で話し合っていたため、グループ討議に入る前に市民意識調査の結果報告と併せて財政状況および将来人口推計の説明を行った。

2日目は、各分野における事業や取組みについて短時間で分かりやすく紹介するため、写真やグラフ等を使用した動画を作成し、口頭での説明に代えて上映した。



◀ 上映した
紹介映像の一部

グループ討議

1日目は13グループ（健康・福祉分野8グループ、子ども・教育分野5グループ）、2日目は14グループ（各分野7グループずつ）に分かれて討議を行った。

話し合いを始める前に終了時刻を伝えてスクリーンに表示し、途中で何度かアナウンスを行い、時間になったら声を掛けて話し合いをやめてもらう形をとった。意見がまとまらなかったり、発表用模造紙の記入が遅れたりした際に、数分時間を延長して対応した。

1日目はグループ内での司会進行役をスタッフから指名せずに討議を進めたが、当日アンケートにおいて「進行役を決めてほしい」との意見があったため、2日目は進行役をあらかじめ指名した。また、進行方法がよく分からないとの声があがったが、前回参加者のフォローなどもあり大きな混乱はなく討議は進んだ。



グループでの話し合いの様子▶

発 表

各グループでの話し合いの結果は3つまでの意見にまとめ、1グループあたり3分の持ち時間で発表した。

前回ワークショップにおいて、分野ごとに分かれずに両分野同時に発表を行ったことが好評であったため、今回も同じ形式で発表を行った。発表用模造紙はタブレット端末搭載のカメラで撮影し、正面の大きなスクリーンに投影することで、後方のテーブルでも模造紙の記載が見えるようにした。



▲発表の様子

投票と総評

投票は参加者1人につき3枚のシールを貼ることにより行った。3枚のシールは、3つの意見に貼ることも1つの意見に3枚のシール全てを貼ることもでき、投票先は自由とした。ただし、自身の所属した分野を越えての投票はできないものとした。

投票後はすぐに集計し、市職員から得票数上位3位の意見の紹介や補足説明等を行った。



▲投票の様子

最後に、1日目は策定委員会の夏目委員長、2日目は松本副委員長からご挨拶および講評をいただいた。



▲委員長挨拶・講評

全体を通してワークショップは目立ったトラブル等もなく進み、参加者からも「とても勉強になった」「今後も継続してほしい」といった肯定的な意見が目立った。また、次回以降参加したいと回答した方が大多数であり、市民参加のきっかけづくりや市の事業を周知する機会として一定の効果があると考えられる。

一方で、新規参加承諾者が少なかったことや、調整計画におけるワークショップの位置づけ及び意見の反映方法についての疑問、市政に対する不満等についてのアンケート記載などがあり、次回以降の課題として検討が必要と思われる。

4 参加者の状況及びアンケート分析

参加者状況

住民基本台帳から無作為に抽出した 1,000 人に案内を発送したところ、64 名（6.4%）が参加を承諾した。また、前回ワークショップ参加者 85 名にも同様に案内したところ、39 名（45.9%）から参加の希望があった。新規参加者は前回実施時に比べ大幅に減少したが、前回参加者の参加率は非常に高くなっていた。

項目	申込人数			実際の参加者		
	1日目	2日目	合計(※)	1日目	2日目	合計(※)
新規	56	54	64	45	36	51
継続	37	34	39	28	25	30
合計	93	88	103	73	61	81

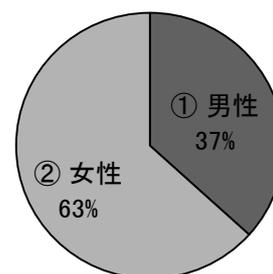
※両日重複した参加者はカウントせず

アンケート集計結果

参加者にはワークショップ終了後にアンケートの記載を依頼した。1日目は 68 枚、2日目は 60 枚を回収した。

・性別

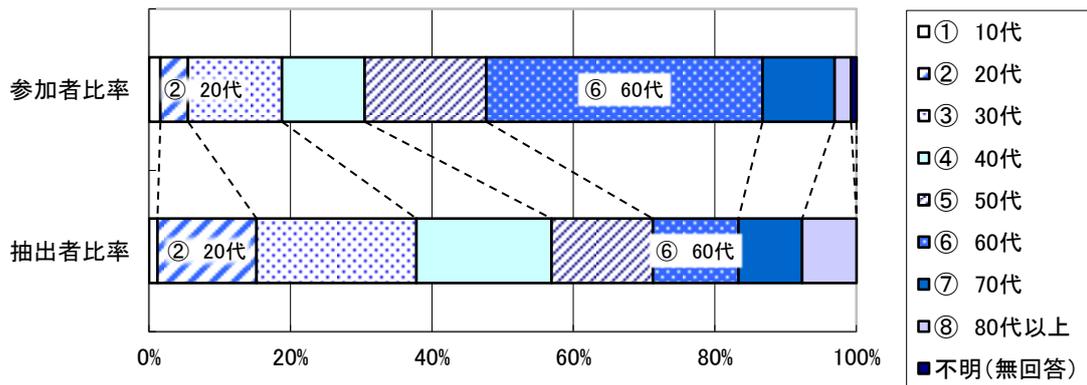
項目	1日目	比率	2日目	比率	2日間合計
① 男性	23	33.8%	24	40.0%	36.7%
② 女性	45	66.2%	36	60.0%	63.3%
合計	68	-	60	-	100.0%



参加者数では男性 36.7%、女性 63.3%となっており、女性参加者の割合が多かった。

・年齢

項目	1日目	比率	2日目	比率	2日間合計	抽出者比率
① 10代	1	1.5%	1	1.7%	1.6%	1.2%
② 20代	4	5.9%	1	1.7%	3.9%	14.0%
③ 30代	13	19.1%	4	6.7%	13.3%	22.6%
④ 40代	8	11.8%	7	11.7%	11.7%	19.1%
⑤ 50代	12	17.6%	10	16.7%	17.2%	14.3%
⑥ 60代	24	35.3%	26	43.3%	39.1%	12.1%
⑦ 70代	5	7.4%	8	13.3%	10.2%	9.0%
⑧ 80代以上	1	1.5%	2	3.3%	2.3%	7.7%
不明(無回答)	0	0.0%	1	1.7%	0.8%	-
合計	68		60		100.0%	100.0%



年齢構成については10代から80代まで、幅広い年代の方々に参加していただいた。中でも60代が約4割となっており、特に参加率が高い。また、今回は10代の参加者が1名いた。

年代ごとの参加率では、抽出者全体における20代の割合は14.0%であったのに対し、参加者全体における20代の割合は2日間で3.9%と非常に低くなっている。30代以下の若い世代における参加率の向上が、今後の課題のひとつである。

・居住地

町目別の参加者割合については、ほとんどの町目において抽出者とほぼ同じ割合であったが、中町に住んでいる抽出者の参加率が高くなっていた。

一方、緑町および境南町においては、抽出者の割合と比べて低い数値であった。境南町においては前回から引き続き参加率が悪くなっている。

項目	1日目	比率	2日目	比率	2日間合計	抽出者比率
① 吉祥寺東町	3	4.4%	5	8.3%	6.3%	6.6%
② 吉祥寺南町	5	7.4%	6	10.0%	8.6%	10.4%
③ 御殿山	2	2.9%	1	1.7%	2.3%	3.5%
④ 吉祥寺本町	4	5.9%	4	6.7%	6.3%	6.3%
⑤ 吉祥寺北町	3	4.4%	6	10.0%	7.0%	10.3%
⑥ 中町	12	17.6%	9	15.0%	16.4%	6.0%
⑦ 西久保	5	7.4%	3	5.0%	6.3%	6.6%
⑧ 緑町	3	4.4%	2	3.3%	3.9%	7.1%
⑨ 八幡町	7	10.3%	4	6.7%	8.6%	8.9%
⑩ 関町	7	10.3%	6	10.0%	10.2%	9.2%
⑪ 境	9	13.2%	8	13.3%	13.3%	10.1%
⑫ 境南町	3	4.4%	1	1.7%	3.1%	9.9%
⑬ 桜堤	4	5.9%	5	8.3%	7.0%	5.1%
不明(無回答)	1	1.5%	0	0.0%	0.8%	-
合計	68		60			100.0%

・職業

参加者の職業については、会社員が約 30%、専業主婦・主夫が約 25%で、両者が参加者の多数を占めていた。また、無職の割合も約 20%と高くなっており、これは参加者全体で 60 代が多いことと関連があると考えられる。

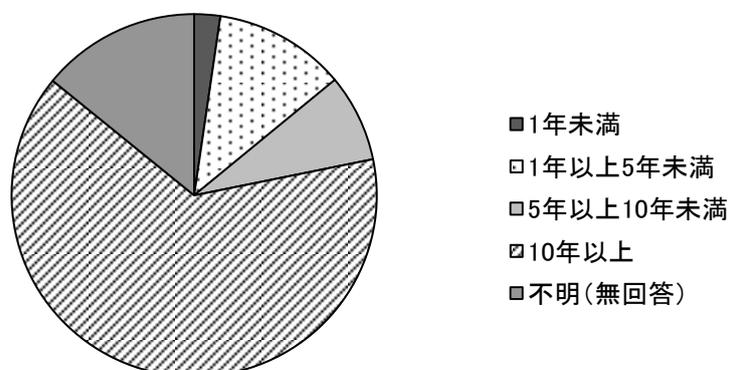
項目	1日目	比率	2日目	比率	2日間合計
① 会社員	23	33.8%	14	23.3%	28.9%
② 公務員	3	4.4%	4	6.7%	5.5%
③ 自営業	4	5.9%	3	5.0%	5.5%
④ パート・アルバイト	5	7.4%	3	5.0%	6.3%
⑤ 専業主婦・主夫	17	25.0%	16	26.7%	25.8%
⑥ 学生	3	4.4%	2	3.3%	3.9%
⑦ 無職	12	17.6%	14	23.3%	20.3%
⑧ その他(※)	1	1.5%	3	5.0%	3.1%
不明(無回答)	0	0.0%	1	1.7%	0.8%
合計	68		60		100.0%

※・・・保育士、ライターなど

・居住年数

武蔵野市での居住年数については、10 年以上と答えた人が最も多く、6 割以上にのぼった。一方で 1 年未満と回答した参加者は 2.3%にとどまっている。

項目	1日目	2日目	合計	比率
① 1 年未満	2	1	3	2.3%
② 1 年以上 5 年未満	9	6	15	11.7%
③ 5 年以上 10 年未満	7	3	10	7.8%
④ 10 年以上	45	37	82	64.1%
不明(無回答)	5	13	18	14.1%
合計	68	60	128	100.0%



※以下の項目については、両日共に参加した方は2日目のアンケートの該当項目に回答していないため、2日目の集計数は少なくなっている。

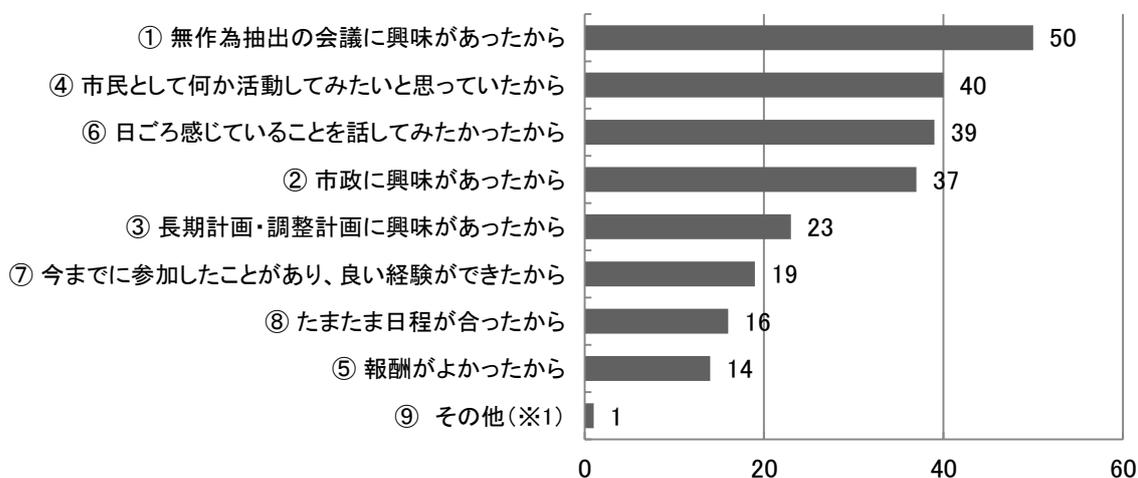
・参加を決めた理由（複数回答）

「無作為抽出に抽出された市民が集う会議に興味があった」ことを理由に挙げた方が約2割であり、最も多かった。

また、前回ワークショップ参加者の参加率が高かったことに関連して「今までワークショップに参加したことがあり、良い経験ができた、役に立ったから」を選択した参加者も、前回アンケートと比較すると大幅に人数が増えている。

項目	1日目	2日目	合計	比率
① 無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから	37	13	50	20.8%
② 市政に興味があったから	28	9	37	15.4%
③ 長期計画・調整計画やその策定過程に興味があったから	15	8	23	9.6%
④ 市民として何か活動してみたいと思っていたから	30	10	40	16.7%
⑤ 報酬がよかった(魅力的だった)から	12	2	14	5.8%
⑥ 日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから	29	10	39	16.3%
⑦ 今までワークショップに参加したことがあり、良い経験ができた、役に立ったから	15	4	19	7.9%
⑧ たまたま日程が合ったから	11	5	16	6.7%
⑨ その他(※)	0	1	1	0.4%
不明(無回答)	0	1	1	0.4%
合計	177	63	240	100%

※…「今年3月の行ったワークショップに参加した」(原文のまま記載)



・これまでの市政への参加状況（複数回答）

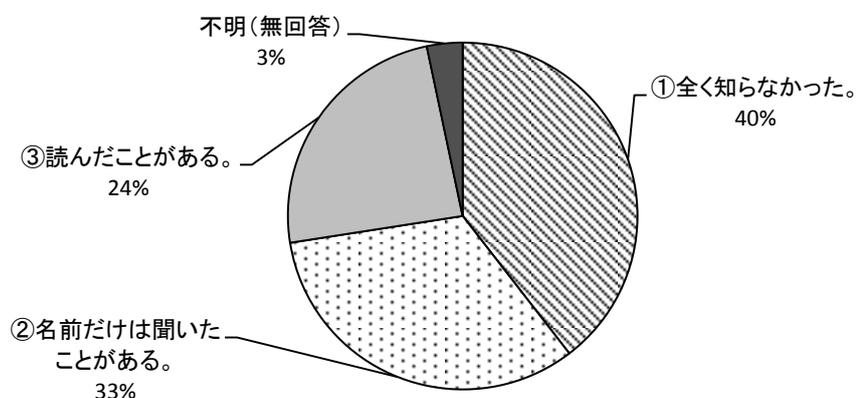
ほとんどの参加者が、これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加したことがないと回答している。

項目	1日目	2日目	人数	比率
①計画策定等の委員として参加	4	0	4	4.0%
②計画策定等の委員会の傍聴	3	2	5	5.0%
③個人としての意見提出（パブリックコメント等）	2	1	3	3.0%
④団体（NPO・コミュニティ協議会など）として意見提出	3	3	6	5.9%
⑤タウンミーティングに出席	3	2	5	5.0%
⑥市民（住民）説明会に出席	4	4	8	7.9%
⑦参加したことがない	48	16	64	63.4%
⑧その他	2	0	2	2.0%
不明（無回答）	4	0	4	4.0%
合計	73	28	101	100%

・武蔵野市の長期計画（第五期）についての認知度

「全く知らなかった」と回答した参加者が約 40%と高い割合になってはいるが、前回ワークショップから継続した参加者も多かったことから、前回実施時と比較すると「読んだことがある」人の割合が大幅に増加した。

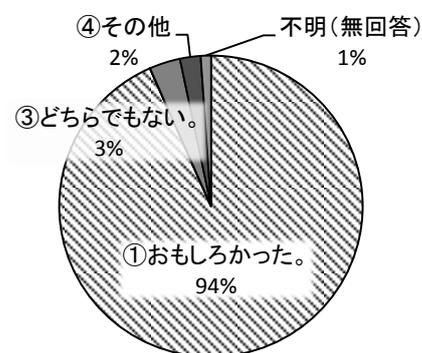
項目	1日目	2日目	人数	比率
①全く知らなかった。	29	7	36	39.6%
②名前だけは聞いたことがある。見たことがある。	22	8	30	33.0%
③読んだことがある。	15	7	22	24.2%
不明（無回答）	2	1	3	3.3%
合計	68	23	91	100.0%



・参加した感想

9割以上が「おもしろかった。楽しかった。」と回答しており、参加者の満足度は高かった。

項目	1日目	2日目	人数	比率
①おもしろかった。楽しかった。	64	21	85	93.4%
②おもしろくなかった。 つまらなかった。	0	0	0	0.0%
③どちらでもない。	2	1	3	3.3%
④その他(※)	1	1	2	2.2%
不明(無回答)	1	0	1	1.1%
合計	68	23	91	100.0%



※・・・「メンバーによって充実するかどうかが決まる」「勉強になった」

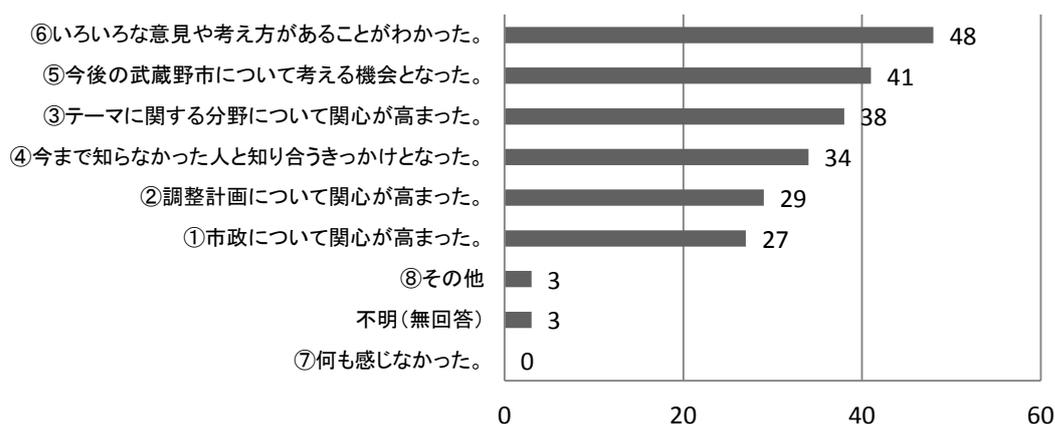
・ワークショップに参加してどのように感じたか(複数回答)

「いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があることがわかった。」という意見が最も多く、多くの参加者が市についての関心が高まったと答えている。

項目	1日目	2日目	人数	比率
①市政について関心が高まった。	13	14	27	12.1%
②第五期長期計画・調整計画について関心が高まった。	21	8	29	13.0%
③話し合いのテーマに関する分野について関心が高まった。	27	11	38	17.0%
④今まで知らなかった人(市民)と知り合うきっかけとなった。	27	7	34	15.2%
⑤今後の武蔵野市について考える機会となった。	29	12	41	18.4%
⑥いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があることがわかった。	35	13	48	21.5%
⑦何も感じなかった。	0	0	0	0.0%
⑧その他	3	0	3	1.3%
不明(無回答)	3	0	3	1.3%
合計	158	65	223	100%

自由記載欄回答:「いかに今、自分が武蔵野市に対して無関心だったのかを思い知った。」

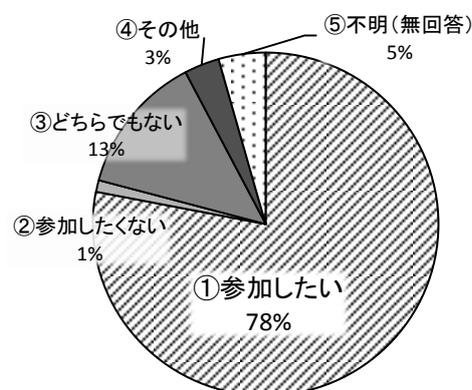
「皆の考えていること、関心のあることが、意外と共通している。」



・次回ワークショップへの参加意思

次回も参加したいと回答した参加者は約8割にのぼっており、次回以降のワークショップにおいても、継続して参加を希望する方が多いと想定される。

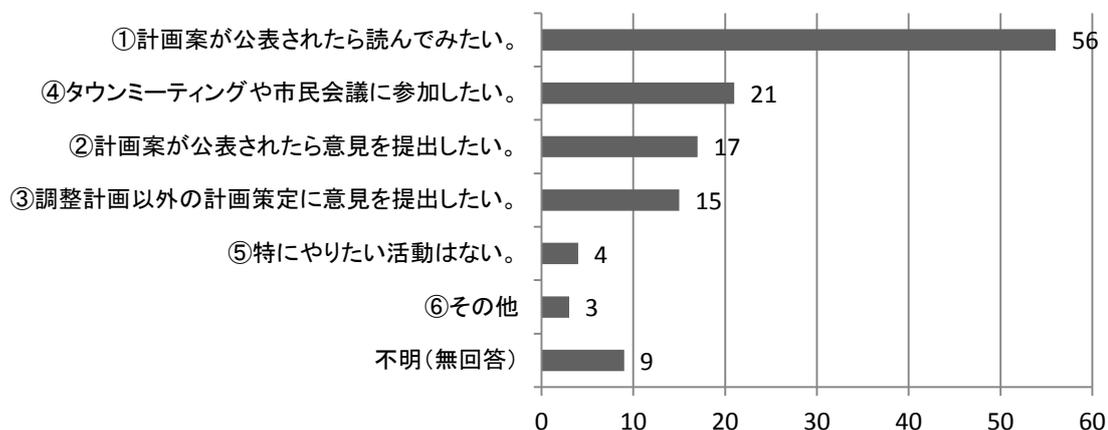
項目	1日目	2日目	人数	比率
①参加したい	54	17	71	78.0%
②参加したくない	1	0	1	1.1%
③どちらでもない	8	4	12	13.2%
④その他	3	0	3	3.3%
⑤不明(無回答)	2	2	4	4.4%
合計	68	23	91	100%



・今後参加してみたい活動（複数回答）

「調整計画の計画案が公表されたら読んでみたい」と回答した方が4割を超え、全体で見ると9割近くの参加者が今後も何らかのかたちで市政に参加したいと回答している。

項目	1日目	2日目	人数	比率
①第五期長期計画・調整計画の計画案が公表されたら読んでみたい。	40	16	56	44.8%
②第五期長期計画・調整計画の計画案が公表されたら意見を提出したい。	14	3	17	13.6%
③第五期長期計画・調整計画以外の様々な計画策定にパブリックコメントなど意見を提出したい。	9	6	15	12.0%
④タウンミーティングや市民会議に参加したい。	17	4	21	16.8%
⑤特にやりたい活動はない。	3	1	4	3.2%
⑥その他	3	0	3	2.4%
不明(無回答)	8	1	9	7.2%
合計	94	31	125	100.0%

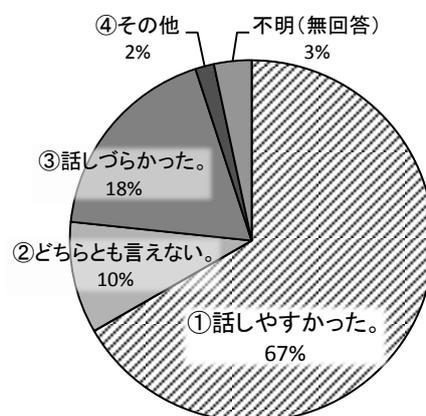


※ 以降の設問は、2日目のアンケートでのみで実施

・今回のテーマについて

「話しやすかった」という回答が多数を占めたものの、「大き過ぎて話しづらい」という意見も2割近く上がっていた。

項目	人数	比率
①話しやすかった。よかった。	40	66.7%
②どちらとも言えない。	6	10.0%
③話しづらかった。		
(1) 大き過ぎた。漠然としていた。 個別具体的な事例や課題がよい。	11	18.3%
(2) 小さ過ぎた。具体的過ぎた。	0	0.0%
④その他	1	1.7%
不明(無回答)	2	3.3%
	60	100.0%



・4つの分野分けについて

「ちょうどよい」という回答が半数近かったものの、テーマについてのアンケート結果と同様に、「もっと小さい分野がよい」という要望が2割以上となっている。

項目	人数	比率
①分野分けは要らない。	3	5.0%
②もっと大きい分野がよい。	6	10.0%
③ちょうどよい。	27	45.0%
④もっと小さい分野がよい。	13	21.7%
⑤どちらとも言えない	6	10.0%
⑥その他(※)	5	8.3%
不明(無回答)	0	0.0%
	60	100.0%

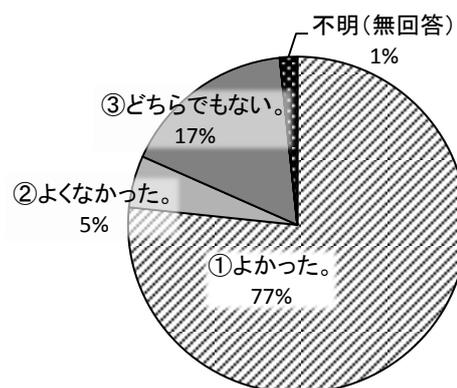
※その他意見…

- ・分野分けはよいが、分野には関係なく、自分の主張したい事を話す高齢者の方がいて困る。
- ・分けを考えた方がいいのでは。都市基盤と市民生活を一緒に。文化と緑・環境を一緒に。
- ・分野分けは良いが、テーマをもっと絞るべき
- ・興味のない分野にあたるとつまらない
- ・分野を分けて、希望した分野に参加したい

・ワークショップの進行について

ワークショップの進行については、概ね好評だった。

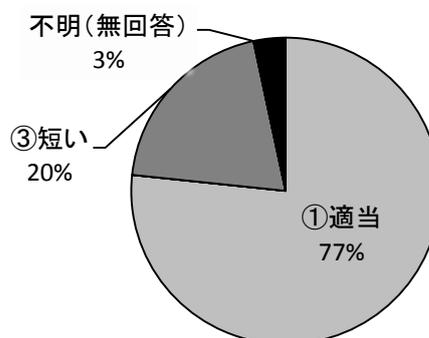
項目	人数	比率
①よかった。	46	76.7%
②よくなかった。	3	5.0%
③ふつう。どちらでもない。	10	16.7%
④その他	0	0.0%
不明(無回答)	1	1.7%
	60	100.0%



・ 討議の時間について

「適当」との回答が75%以上を占めており、「短い」との回答が20%となっている。一方で、「長い」と答えた参加者はいなかった。

項目	人数	比率
①適当	46	76.7%
②長い	0	0.0%
③短い	12	20.0%
④その他	0	0.0%
不明(無回答)	2	3.3%
合計	60	100.0%



・ 机上に配布した資料について

多くの参加者が「役に立った」と回答したが、「読んでいる時間がない」との意見もあった。

項目	人数	比率
①役に立った。	47	78.3%
②役に立たなかった。(※)	8	13.3%
不明(無回答)	5	8.3%
合計	60	100.0%

※どんな資料があればよかったですか？→「読んでいる時間がない」

・ 発表用のシート（模造紙）について

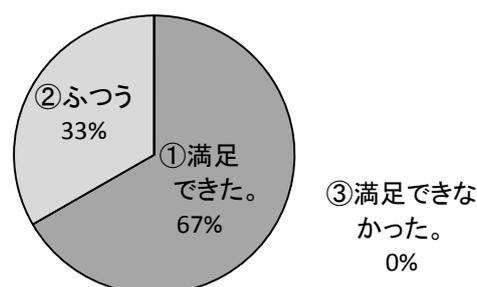
「よかった」「ふつう」との回答が約9割となっている。

項目	人数	比率
①よかった。(わかりやすかった。使いやすかった。)	44	73.3%
②よくなかった。(何を書けばいいかわかりづらかった。)	4	6.7%
③ふつう。どちらでもない。	10	16.7%
④その他	1	1.7%
不明(無回答)	1	1.7%
合計	60	100.0%

・ スタッフの対応

全ての参加者が「満足」または「ふつう」と回答し、おおむね好評であった。

項目	人数	比率
①満足できた。	40	66.7%
②ふつう	20	33.3%
③満足できなかった。	0	0.0%
不明(無回答)	0	0.0%
合計	60	100.0%



その他自由記載欄で寄せられた意見は次のとおりである。

○次回無作為選出市民によるワークショップを開催するとしたら、どのようなテーマを希望するか。

【健康・福祉】	より良い市民生活(高齢者に対する)対応
	老後を考える。やってもらうから、自分の将来ビジョンを作ろう→自立
【子ども・教育】	子育て
	子育て関連のテーマを希望します。具体的には保育園、学童についてです。
【文化・市民生活】	災害時、一般市民はどう行動すべきか、行政組織はどう対処するのか？
	高齢化と財政難を見据えて、行政頼みではないコミュニティ活動の活発化
	コミセンの活用についてテーマを絞った話し合いと、実際に企画を実行できるまでにする。
	武蔵野ブランドをもっと具体的に
	世代間交流!!(コミセン抜本組織変更)コミセン活用
	世代、近隣との好ましい交流法
	文化教育
【緑・環境】	原発問題
【行・財政】	市と国、市外自治体、住所との関係問題の洗出し
	公共サービス機関あり方(具体的にバスサービス)
	市長、市議会議員の給料を安くすること(あり方も含む)
	今後の市財政
	市所有の土地の活用状況について
	今後の財政についてもっと具体的に話し合いたい。
	予算、決算の詳細説明
	市政のP、D、C、Aを見える化
	働く世代が暮らしやすい行政サービス(子育て世代のテーマは多いが、子育て終了、子供なしのフル勤務市民についても考えてほしい)
	市有地の有効活用
	【その他全般】
福祉、市民生活	
環境、行財政関係	
過去やってないテーマ。具体的にしぼっても良いかと思えます。	
吉祥寺が渋谷みたくなるとは困るので、是非マナーを！	
毎日同じような内容が話し合われるのは、仕方ないかとも思います。	
テーマが漠然とし過ぎているので、狭いテーマで。	
ワークショップで話し合われたことに対してどのような対策をされたが結果をしりたいです。	
テーマをもっと抽出してほしい(絞り込む)	
前回、今回の話し合いのテーマがきちんと生かされた行政が計画・実行されているのか	
小さな自分の意見ばかりで、テーマ選定に時間が掛かり過ぎた。	

○感想(興味を持たれたこと、印象に残ったこと、困ったところ、わかりづらかったところなど)

- ・ 参加者が会場内を写真(スマホ)に撮っていた。個人のブログ?に載せるため? 写り込んでいないかと思いきや不快でした。
- ・ 休憩を全体でとってほしかったです。
- ・ 発表する時間が少なかった。もっと意見が言いたかったので、グループを減らすか、時間を増やしてほしい。
- ・ 最初の市の方の説明画面が全く見えず、わかりにくかった。
- ・ スライドが見にくいので前のライトを弱くするなどして、見やすくしてください。色々な世代の人と一つのテーマで話すことで視野が広がった気がします。もっと市について知ろうと思います!!
- ・ スクリーンの画面が薄くて見づらかった。特に、小さな文字。色々な意見が聞けて勉強になった。やはり、老後(医療)への不安ですね。
- ・ 第一ラウンドの際、各テーブルの司会を選ぶ説明があった方が良くと思いました。また、今回初参加の方へのワークショップの進行説明が少なかったと思います。
- ・ 会場に“飲み物”の用意があったら嬉しかったです!!次回は持参します。
- ・ 市のやっていることについて、やっぱり知らない事が多いと実感した。もう少し資料(長期計画の資料など)を簡略版にしてほしい。ぱっと見てわかるように、、。発表の時間も、もう少し長いと嬉しいです。
- ・ 好きなテーマを選びたかった。
- ・ 課題を話し合い、発表に持ち込むにはもう少し時間があってもいいと思いました。
- ・ 転勤が多いので、何となく・・・で武蔵野市に住んでいましたが、今回のワークショップを通じて、武蔵野市が好きになりました。ただ、ワークショップの場所案内は不親切でしたね。入口に案内等が欲しかったです。(人はいらっしゃいましたが・・・)ハガキの地図に入口をハッキリ書くなど・・・。
- ・ 最終的に意見として落とし込むレベルがよく分からなかった。「即効性があり、明日からでも実施できるレベル」とか、「来年度の予算として確保できるような具体的な内容」とか、「お金がなくても工夫で、実施することが出来るもの」とか、達成すべきレベルのイメージがよくわからず、議論が途中になってしまった。
- ・ 前回から参加していますが、どのようなテーマでも大きすぎると同じ内容(自転車マナーとか)が出てきてしまいます。より狭いテーマを設定していただいた方が、掘り下げやすいと思います。発表が時間を超えるグループが多く、もっと短く分かりやすい発表のための市からの指導が必要かと思いました。グループの意見の発表と個人の感想を分けてまとめてほしいと思いました。「時間終了」の札が見にくいのか、気付かない人も。
- ・ 法律、財政を全く(多少は仕方ないにしても、、、)無視した意見を述べる方が思った以上に多くてビックリしました。自転車レーンの設置や、電線地中化にどれくらいのお金がかかるのか、管理にどれくらい手間と費用がかかるのか等の分かりやすい数字としての資料も欲しかったです。もちろんお金があればやっていただきたいですが、、、。市も大変だと思いました。費用対効果のさらなる向上に向けて頑張ってください。
- ・ 話し合い中にも発表で出された以外の意見がたくさん出ました。みなさん様々なご意見をお持ちですので、話し合い中、もっと市の職員さんに参加して頂いて、意見交換が出来ればと思いました。ありがとうございました。
- ・ ワークショップ以外で、市に考えを伝える方法が分かりません。
 - ・ 先日、一斉清掃がありました。その時の参加費(?)がボールペンでした。しかし包装があるのと、うちでは使わない物なので、結局ゴミが増えます。参加費を配るのであれば市内用のゴミ袋の方が必ず使うのでありがたいですし、ゴミも増えません。(5ℓとか10ℓとかだと一家庭に一つとすれば同じくらいの経費かと思いました)
- ・ 自転車のマナー講習(スタントマン)は、広くたくさんの人にやってほしいです。

- ・学校での自転車スタント実演を是非実施してください。
- ・市での催しで、スタント実演してもらえたら、必ず足を運びます。
- ・防災無線の件は早急に
- ・現在市民農園を利用していますが、2年間で終わってしまうので、継続して農業をしたい。
- ・この結果をどのように活かすのか、、、知りたい。(具体的に)
- ・今後も継続して実施してほしい。
- ・①すべてにおいて、せっかくの市役所のお取組みなので、広報(フィードバック)の充実を求めます。
- ・②今後大変期待しています。よろしく願います。ありがとうございました。
- ・継続してほしい
- ・施策にどの程度反映されるのか、分からない。(無作為抽出でも、その中で、意見を持つ市民が来るため、意見にある程度かたよりが出ることには認識する必要があります)
- ・市政に具体的にどのように生かされるかが、、、。実現困難な提案や人の倫理観に与える内容も多いので。
- ・もっと若年層を執りこむべきだ。無作為抽出とはいえ、世代の中での無作為は良いが年齢層毎に参加者数を割り振ったら
- ・前回も参加して感じたのですが、参加している人の年齢が片寄っている。年に20~30代の男性の参加が少ないのが残念です。インターネットなどで若い世代の意見を集めてはどうでしょう。
- ・保育園に子供をあずけられない、という話で、この先、子どもを武蔵野市で育てるとなった時の不安を感じました。防犯対策では、市の方で不審者対策をどうにかもう少し強化して欲しいです。関前、上水沿いの街灯の増設、お願いします！集まる時間を1時間早めてもいいので、最終結論をまとめる時間と発表時間を、それぞれ+15分、+3分ほどプラスしていただけると嬉しいです。
- ・ずいぶん知らない事がありました。参加してとても良かったと思います。ありがとうございました。
- ・あたりさわりのない意見が多すぎる。参加者が多くなればなるほど。もっと踏み込んだ提案が欲しいです。独創的な武蔵野市の方式みたいなかっこいい??施策など。
- ・世代間で考え方が違うので、なかなか意見がまとまらなかった。ただ、地域も少し違うので、同じ市内であっても色々あるのだなと思いました。
- ・各グループ意見の重複が多く見られ、という事は皆さん同じ考えを持つ方が多いという事で、市民の声として市政に取り入れて頂きたい。
- ・保育中のママさんから現状を再認識できた。
- ・印象に残ったことは、今現在自分が困っていることに興味を持っている事
- ・とても勉強になりました。
- ・長年、武蔵野市在住でいながら市政その他、知らない事が多く今回の参加で、いろいろ知ることが出来、大変有意義な時間でした。
- ・特に自分は困難な状況にないという事がわかった。病気や介護で大変な人が少しでも楽に過ごせるようになっていいと思う。あわせて健康な人や若者も気持ちよく過ごせる町であってほしい。
- ・財政や人口の話が聞けておもしろかった。
- ・1. 市の計画策定の片隅に参加でき嬉しかった。
- ・2. 今日出された意見を有効に活用してほしい。
- ・3. 全体的に生活に直結した意見が多かった。

- ・ 普段何となく不満に思っていた事を多くの人と話し合い、考えをまとめ、良い勉強になりました。
- ・ 「市」が主体となって取り組めることが、どこまで、何が出来るのかわからないが、市民の意見、要望として出しました。他の方の意見もとても参考になりました。
- ・ 申し上げるまでもありませんが、アンケートに回答する人たちや選挙で投票する人たちと同様、このようなWSに参加する人たちにはある種の「傾向」があると思いますので、その辺は勘定して頂きたいと思います。
- ・ 武蔵野コンシェルジュが興味をひいた
- ・ 健康福祉のテーマは中高年が多いですが、大学生の女性が一人入っていて、その方の意見はとても新鮮でした。世代の違う人々とも交換できる場はとても良かった。
- ・ 分からないことがわかった。
- ・ 高齢者と言われる年になり自分の今後を考える機会が多くなった。自分の問題として市の長期計画、今後の市政に関心を持ちつつでも武蔵野市に住んでいられるような場所であってほしい。
- ・ 面白かったです。色々な人の話、意見を聞いて参考になりました。今の私に必要な事ははっきりしてきました。
- ・ 初めての参加で、とまどっていました。経験者の方が、数人おられて助かりました。初参加の方ばかりだと、とまどってしまいますね!!次回はもっと意欲的に臨めそうです。
- ・ 障害のある方や少数意見の方々の意見も吸い上げて欲しいです。今日、30~40歳代男性が少なかったのは残念でした。
- ・ グループの中に大変積極的に意見を出している姿に感動しました。
- ・ 話し合いのやり方が分からず、最初はグループの意見がバラバラに出され、まとまりませんでした。話し合いのテーマが、しぼれず、どうなることかと思いましたが、何とか、まとまったのかと思います。
- ・ 前回も出席したので話しがダブルところがあった。
- ・ 実現できるよう願っています。
- ・ 市民交流力UP。さらに参加者が、具体的施策レベルに落とし込んだ提案できる力を身につけていけると良い。
- ・ 多様な意見が聞けたためになった。
- ・ 関心を持つのは皆さま同じ所、今後も今回と同じ様に市政に関心を持っていけたらと考えます。
- ・ ※前回(29日)感じた事を別紙に簡単にまとめました。

(別紙)様々なテーマについて、市だけでなく民間団体等において常に討議した実践しているわけですから、このようなワークショップにおけるその場の思いつきの素人の意見や、その場の空気によって無理やり集約された結論などというものに対し、市として何かを期待しているのではないと思いますが？(「子ども・教育」分野の一番の課題が「自転車マナー」などという事は有り得ない話です！)ともかく、人数限定とはいえ、市政に対する関心を持たせるための単なる「イベント」と捉えれば楽しくかつ有効なものだったと思います。(コストパフォーマンスは「？」ですが)

- ・ 皆さんの意見が伺えてとても勉強になりました。視点が違う方々との話し合いは刺激的でした。
- ・ ワークショップだと力の強い人の意見が先行する部分もあるので少数意見にも耳を傾けほしい部分もありました。
- ・ いろいろな情報が得られた。いろいろな人と知り合えた。
- ・ 男性の意見が聞け良かった。
- ・ 都市基盤行財政のテーマは分かりにくくどうしようかと一瞬考えましたが、話し合うと違う視点で市を考えられて、結果的には良かったと思いました。
- ・ まだ武蔵野市は自転車のマナーがいい方だと思っていたが、皆さん危機感を持っていらっしゃるのにびっくりしたと

共に愛市精神とでもいうものがあると思った。

- ・ 市所有の土地について少し知識がついて良かった。
- ・ いろいろな意見が伺えておもしろかったです。
- ・ 今回は面白いまとめが多くて良かった。
- ・ 衆愚になってきている
- ・ 世代間交流の場として非常に良かったと思います。
- ・ 地域、生命など各違いにより望む行政はあるが、一致するのは安全、安心で市民に優しい武蔵野行政である事がよくわかった。
- ・ 良い勉強になりました。職員の方、ありがとうございました。
- ・ 吉祥寺に住んでいる方が、年々ひどくなると言われた事が気になります。
- ・ 分野が分かりやすい様に映像が出たのは良かった。
- ・ 市政への市民参加については良い。これによる計画、実施、チェック、改善の開示
- ・ 皆さんの意見が素直に聞くことができた。



資 料



1 参加不承諾者のアンケート集計結果と分析(有効回答数:276件)

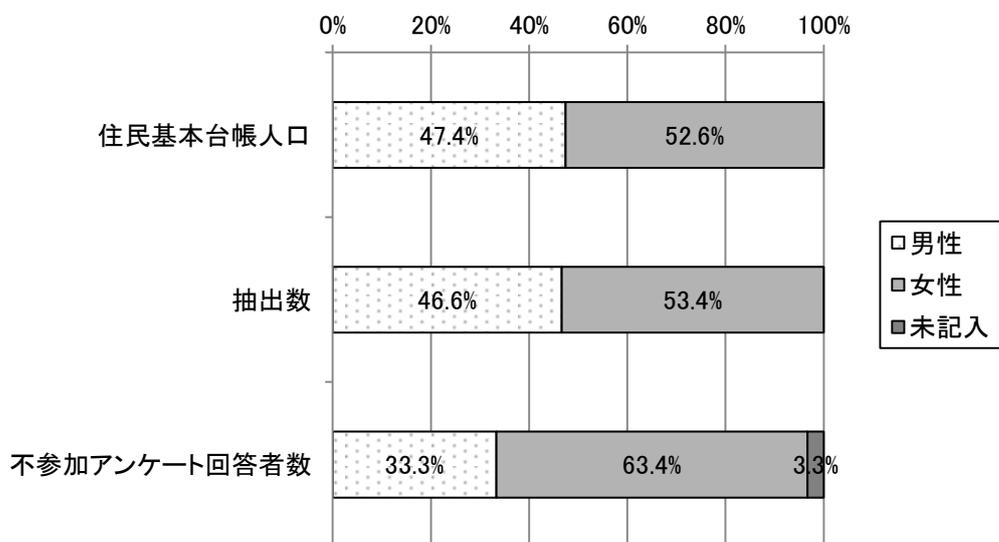
1 ご自身について回答をお願いします。

(1)性別 ① 男性 ② 女性

(単位:人)

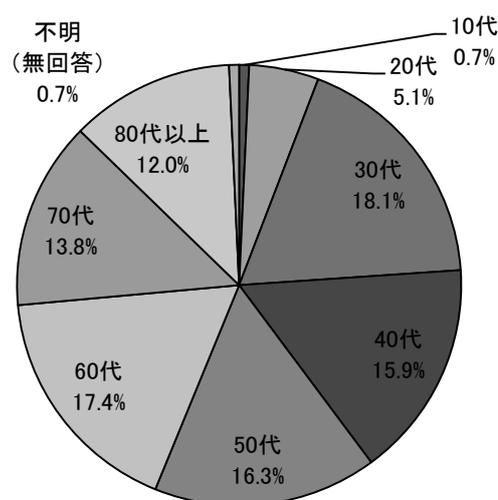
	男性	女性	未記入
住民基本台帳人口候補者数(※)	58160	64440	-
抽出数	466	534	-
不参加アンケート回答者数	92	175	9

※抽出日(平成26年9月30日現在)に住民基本台帳に登録されている18歳以上の者



(2)年齢 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上

年代	人数	比率
10代	2	0.7%
20代	14	5.1%
30代	50	18.1%
40代	44	15.9%
50代	45	16.3%
60代	48	17.4%
70代	38	13.8%
80代以上	33	12.0%
不明(無回答)	2	0.7%
合計	276	100.0%



参加者アンケートの状況と同様に、不参加者のアンケートについても女性の回答率が高くなっており、全体の6割を越えている。

回答者の年代については、30代から60代までの割合がほぼ均等となっている。

- (3)住所 ① 吉祥寺東町 ② 吉祥寺南町 ③ 御殿山 ④ 吉祥寺本町 ⑤ 吉祥寺北町
⑥ 中町 ⑦ 西久保 ⑧ 緑町 ⑨ 八幡町 ⑩ 関前 ⑪ 境
⑫ 境南町 ⑬ 桜堤

町名	人数	回答者比率	抽出者比率
吉祥寺東町	24	8.7%	6.6%
吉祥寺南町	20	7.2%	10.4%
御殿山	7	2.5%	3.5%
吉祥寺本町	19	6.9%	6.3%
吉祥寺北町	27	9.8%	10.3%
中町	15	5.4%	6.0%
西久保	11	4.0%	6.6%
緑町	18	6.5%	7.1%
八幡町	30	10.9%	8.9%
関前	28	10.1%	9.2%
境	31	11.2%	10.1%
境南町	30	10.9%	9.9%
桜堤	13	4.7%	5.1%
不明(無回答)	3	1.1%	-
合計	276	100.0%	100.0%

町目別に見た回答者の比率は、抽出者全体に対する比率との大きな乖離はない。

- (4)職業 ① 会社員 ② 公務員 ③ 自営業・自由業 ④ パート・アルバイト
⑤ 専業主婦・主夫 ⑥ 学生 ⑦ 無職 ⑧ その他()

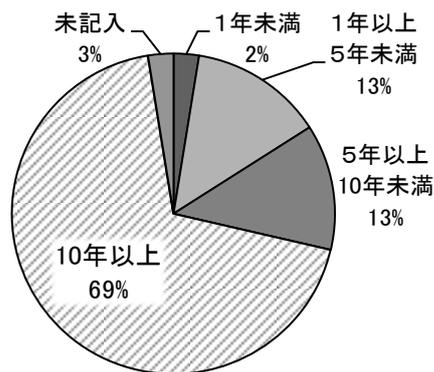
項目	人数	比率
会社員	70	25.4%
公務員	13	4.7%
自営業	24	8.7%
パート・アルバイト	30	10.9%
専業主婦・主夫	58	21.0%
学生	5	1.8%
無職	50	18.1%
その他(※)	14	5.1%
不明(無回答)	12	4.3%
合計	276	100%

※・・・「医師」「薬剤師」「医療従事者」「団体職員」「派遣社員」「大学教員」「福祉就労」「介護ヘルパー」「水彩画家」等の回答

職業の分布については、会社員、専業主婦・主夫の割合が多く、その2つで約5割を占めている。学生の比率は参加者の状況と同じく、低い割合となっている。

(5) 武蔵野市での居住年数

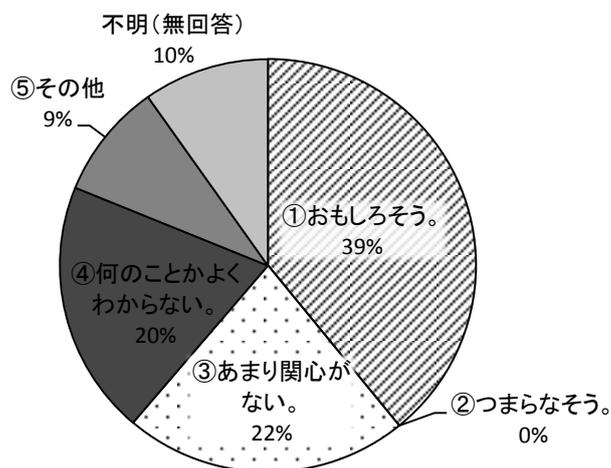
項目	人数	比率
1年未満	7	2.5%
1年以上5年未満	37	13.4%
5年以上10年未満	35	12.7%
10年以上	190	68.8%
不明(無回答)	7	2.5%
合計	276	100%



参加者の状況と同様、10年以上の年数を答えた方が7割近くであり、圧倒的に多くなっている。

2 「武蔵野市第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップ」の参加依頼書を見た時、どのようにお感じになりましたか。

項目	人数	比率
①おもしろそう。	108	39.1%
②つまらなそう。	0	0.0%
③あまり関心がない、 興味がわかない。	61	22.1%
④何のこともよくわからない。	55	19.9%
⑤その他(※)	25	9.1%
不明(無回答)	27	9.8%
合計	276	100%



「おもしろそう」という回答が4割程度あり、「あまり関心がない」「よくわからない」という回答についても同じく約4割となっている。

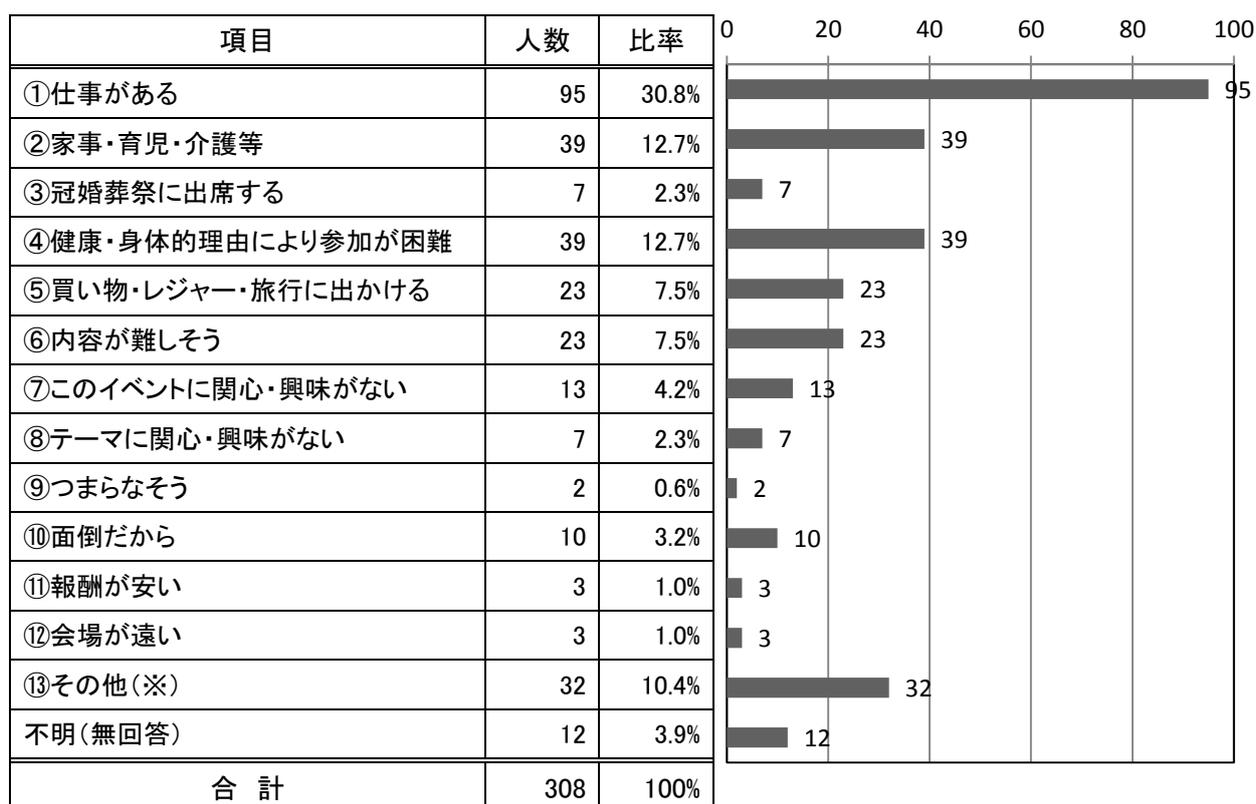
自由記載欄においては、ワークショップの実施について肯定的な意見が見受けられる一方で、調整計画への反映方法や意見の取扱われ方が分からない・見えないといった記載もあり、事前の案内や広報内容についての検討が必要と考えられる。

※・・・記載は次のとおり

- ・ 日程が合えばと思いました。大賛成です。
- ・ 必要だと思う。
- ・ 長期計画は欠かせない事ですが、参加は不可
- ・ おもしろそうだが、参加できない。
- ・ 多くの人の意見を聞くのはとても良いと思う
- ・ 現在、あまり体調が良くないので回復したら参加したい。
- ・ ワークショップ開催時間に参加できない

- ・ すごい！さすが武蔵野市！
- ・ 少し責任を感じました。良いことだと思います。
- ・ 大変良い事だと嬉しく思いました
- ・ 興味本位ではなく市民は市政の事に僅かでも協力した方が良いと思います。
- ・ このような事が行われているのは素晴らしい。
- ・ 意義はあると感じる
- ・ すばらしい取り組みだと思います
- ・ 内容によって参加したい
- ・ 日時が合うかどうか
- ・ 市民の声を聞くためにこんなこととしているのだなあと、そしてはたしてどれ程役立つのかも感じました。
- ・ 読まないと興味がわきにくい
- ・ ワークショップが行われていることを知ることが出来て良かったですが、意見を持って参加する自信がありません。
- ・ どのように進めてゆくかわからない
- ・ 税金の無駄遣い。必要ない
- ・ ワークショップがどのように長期計画に生かされるのか見えてこない。時間をもて余した人の偏った意見が出てくるならばやめるべき。
- ・ 実際政策に反映するのか、疑問に思いました。また、もし仮に反映するのであれば、議員は必要ないのではないかと思います。
- ・ このような方法であまり具体的な成果が出るとは思われない。市政アンケートで十分であると思う。
- ・ テーマが広すぎて結局実りの無い無責任な、意見集約になりそうだったと思った。
- ・ 謝礼など出すのは、必要ない。高額すぎる。
- ・ 職場以外でワークショップへの参加を依頼されることは想定外でした。
- ・ そういうことをやっているんだと思った
- ・ むずかしそう
- ・ 本人は入院中なので答えられない
- ・ 主旨はわかりますが、体力がない状態
- ・ 自分には遠い世界の話のよう
- ・ 市民意識調査の内容不明！
- ・ 大変そう
- ・ 平日休みなので参加できない
- ・ まだ居住して間もないのでよく分からない
- ・ 自分に良い意見が発言できるかわからない

3 今回参加されない理由について(複数回答可)



参加できない理由について、最も比率が高かったのは「仕事がある」、続いて「家事・育児・介護等」「健康・身体的理由」となった。会社員と専業主婦(夫)の回答者が多かったことから、これらの理由が上位になったと考えられる。

※…記載は次のとおり

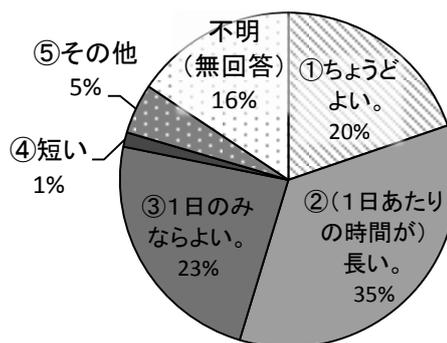
- ・ 勤務日
- ・ 仕事を休んで参加するほどではない
- ・ 11/29 こうのとりのり学級に参加したいと思っているから
- ・ 他の武蔵野市イベントに参加する為
- ・ 土曜日は卓球の練習日だから
- ・ 時間が長すぎる
- ・ 時間的にも負担になる。
- ・ 妊娠中の為、すみません
- ・ 足が悪いから
- ・ 高齢
- ・ 入院中
- ・ 通院のため(同様意見3件)
- ・ 持病がありますので無理
- ・ 介護のために残念です
- ・ 家族の入院等により精神的物理的余裕がない
- ・ 里帰り中の為
- ・ 保育園の行事のため
- ・ 息子が受験生で、この時期は学校見学、説明会、面談があるので
- ・ 海外での観劇
- ・ 忙しいので申し訳ありません
- ・ 現在取組んでいることがあり忙しいので時間がない
- ・ 研究会があります。
- ・ 学校がある
- ・ 授業がある
- ・ 資格試験の前日の為
- ・ 用事がある(同様意見2件)
- ・ 日程が合わなかった(同様意見5件)
- ・ 今回は仕事ですが、うまく予定通り時間が取れるか不安なので、かえって迷惑をかけてはいけないので
- ・ 希望に添えない場合があるとの一文が?
- ・ 決まった事を知ればよいと思う

- ・ 引越し予定あり
- ・ 日中仕事に出ていて、市民サービスもほとんど利用していないため、今後引っ越す可能性が高い
- ・ 武蔵野市より転居するため（同様意見1件）
- ・ 税金の無駄遣い。必要ない
- ・ 参加をしても、計画がたつのは役所のまわりだけだから
- ・ これだけ広範囲のテーマを2日間各4時間で、意見集約することは大変むずかしく、形だけの集会になりかねないから。
- ・ 意義をあまり感じられない
- ・ 意見がどれ程市政に反映されているのか疑問
- ・ 知らない人と4～5人で会話するのが苦痛。
- ・ 4～5人のグループワークはストレスが大きい
- ・ 話をするのが苦手なので
- ・ 精神的に負担
- ・ 若いほうが良いと思う
- ・ 関心がなくはないが、有意義な意見を出せる自信がない。
- ・ 自分の意見がとくにない

4 開催スケジュールについて

(1) 1日4時間で2日間行うことについてどう思われますか？（複数回答者あり）

項目	人数	比率
①ちょうどよい。	57	19.7%
②(1日あたりの時間が)長い。	101	34.9%
③1日のみならよい。	68	23.5%
④短い	4	1.4%
⑤その他(※)	14	4.8%
不明(無回答)	45	15.6%
合計	289	100%



「1日あたりの時間が長い」「1日のみならよい」との回答が半数以上であり、開催時間が長いと感じている人が多くなっている。一方で、参加者アンケートにおいては開催時間が長いと回答した人はおらず、対照的な結果となった。

※…記載は次のとおり

- ・ 2日間となると、スケジュール的にむづかしい
- ・ 丸1日かけて行う方が、参加者を募りやすいと思う
- ・ 一か月前では参加はむづかしいです。予定がくめません。
- ・ この年末の時期は調整がつきづらい
- ・ 午前だけだと参加できたかもしれない
- ・ 3時間くらいなら良い（同様意見1件）
- ・ 超老人ですので失礼
- ・ 持病があり参加できない
- ・ 休日なしで営業しているから
- ・ 初めて会う人方との話合いなので
- ・ 市役所まで行くのが遠い
- ・ よくわからない（同様意見3件）
- ・ 実際には参加してみないとわかりません。
- ・ 当日確認すべき資料の分量などによると思うので、現段階では何ともコメントできません
- ・ 結論が出なければ分野によっては延長することもあるのでは
- ・ 開催趣旨が不明
- ・ 必要性に疑問を感じます。

(2) 2週連続で土曜日に開催することについてどう思われますか？

項目	人数	比率
①他の曜日の方がいい。(※1)	43	15.6%
②2日連続開催(土日など)の方が参加しやすい。	46	16.7%
③その他(※2)	68	24.7%
不明(無回答)	119	42.9%
合計	276	100%

※1…何曜日ならば参加できるか →日曜日：6 火曜日：1 水曜日：1 金曜日：4 平日：4

※2…記載は次のとおり

- ・ 土曜日で良い (同様意見 15 件)
- ・ 土曜日は家族で出かけたいからあまり。
- ・ 土日の方が、平日より参加できる方は多いと思いますが、せっかく家族全員揃うので家族サービスを優先したい。
- ・ 土日仕事がある
- ・ 午前中の方が参加しやすいです。
- ・ 平日の夕方
- ・ タ～夜が良い
- ・ 一日でよいと思う (同様意見 6 件)
- ・ 1 日のみで、候補がもう少しあった方が参加しやすい
- ・ 毎週(2週連続)以外がよい (同様意見 2 件)
- ・ 2週連続じゃなくて間隔をあけてほしい (同様意見 4 件)
- ・ シフトの休みの為、もっと早く知らせて頂かないと 2 日間休めません
- ・ アルバイト(サービス業)なので、土日は参加できないのと、その他の曜日も不定期なので予定がたてられない
- ・ 仕事が不規則なので申し訳ありません
- ・ 平日のグループ、土日のグループと分けて選べることでできれば良いと思う。主婦は土日は家族がいて無理です。
- ・ 人それぞれ不都合、都合良い日があるため調整課で決定でよろしいのでは？
- ・ 土曜日に参加出来る人が参加すればよい
- ・ 出席者に事前準備の時間を持ってもらう方がよい。
- ・ 時間がない
- ・ 都合がつけば参加します
- ・ しょうがないと思う。
- ・ よくわからない (同様意見 2 件)

開催日時の希望については多様な意見が寄せられた。対象者それぞれの事情により異なっており、一概にどの曜日が望ましいと判断するのは難しくなっている。多様な市民が参加できるようにするために、毎回特定の曜日にするのではなく、柔軟に対応していく必要がある。

また、「2週連続でないほうがよい」「1日のみでよいと思う」といった意見も複数寄せられている。

5 次回、このようなイベントの参加依頼書が届いたらどうしますか。(複数回答可)

項目	人数	比率
①日程が合えば参加する。	100	33.1%
②テーマに興味があれば参加する。	81	26.8%
③報酬が高ければ参加する。	7	2.3%
④できれば参加したくない。	62	20.5%
⑤その他(※)	27	8.9%
不明(無回答)	25	8.3%
合計	302	100%

「日程が合えば参加する」と答えた人が回答者の3分の1程度を占め、「テーマに興味があれば参加する」との回答が続いた。逆に、「参加したくない」と回答したのは約2割となった。

※…記載は次のとおり

- ・ 開催趣旨が理解できれば参加したい
- ・ 忙しいので参加しづらい
- ・ 実りある参加になりそうだと判断すれば出る。
- ・ 身体的・健康上の理由により不参加（同様意見8件）
- ・ 自分が役に立てそうなら参加する
- ・ 4～5人のワークショップ以外の形式なら参加するかも
- ・ 引越し予定ありです
- ・ 体調が良くなったら参加したい
- ・ こういう話し合い苦手です。
- ・ 疲れなくなったら、参加しても良いと思う。
- ・ わからない
- ・ 体力があれば参加したい
- ・ その時の状況で考える
- ・ 育児の都合と合えば参加する(時間など)
- ・ 今のところ参加出来ないと思います。
- ・ 子どもが小さいので、今は無理そう。
- ・ 参加できない
- ・ 育児で多忙なため参加は難しい
- ・ 絶対に参加しない
- ・ しばらくは親の介護で不参加です
- ・ 興味がないので、できれば送付しないでほしい
- ・ 参加出来ない 介護が必要な為
- ・ 御苦労さまでした
- ・ 高齢で参加は難しい（同様意見1件）
- ・ 謝礼はなし
- ・ 休みが1日のみしかない為その日を参加してしまうと困ります。
- ・ アンケートの回答ならOK

6 その他何かあればご自由にお書きください。(自由記載欄)

- ・ 2,3ヶ月先まで予約が入っていることが多いので、連絡をもっと早めに欲しいです。
- ・ 5月の内容について感想など案内されていれば視点が変わったかも
- ・ 2日連続で土、日ご家族がお休みの方は厳しいのではないのでしょうか。1日で終わらした方が良いと思います。
- ・ 2日とも参加のしづらいと参加しづらいと思いました。送付が遅れて申し訳ありませんでした。
- ・ 本当に無作為なのか疑問を感じた。ワークショップにするのはどうかなと思う。意見をまとめるのは、市議や市役所の仕事で、あくまで意見を求めるまでで、良いのでは？と感じる
- ・ 分野を絞って欲しい。乳幼児の子育て支援ばかりではなく、高校、大学入学時の奨学金等についてもっと充実させないと子供の数は増えない。奨学金制度の充実を願う。
- ・ 分野ごとに検討するだけで良いのですか？どこまで求めているのですか？
- ・ 人によって得意分野等があると思うので、ワークショップの内容を分野ごとに分けて、選べるようにすれば、2日間参加する必要はないと思います。市長とのタウンミーティング時にワークショップの案内配布してはどうか。
- ・ ワークショップに参加せずとも意見を反映させるアンケートを実施してほしい
- ・ ワークショップではなく、アンケートだけで良いのでは？グループで2回4時間ではアンケートの分析はできないと思います。
- ・ 忙しすぎてホームページを見ることはないのですが、ワークショップを開催することで皆さんの意見が市の中で反映されているのでしょうか？皆さんが喜んでいるものはありますか？子供も大きくなると市報を見ることもチェックすることも少なくなり、市の事に無関心になりそうです。フルで働いていると何かに参加する余裕もありません。
- ・ こんな事を考える前に、老人ホームを作ってください。いつ迄家賃払いか。テンミリオンハウスに行きますが皆さんの気持ちは同じです。
- ・ 介護と育児、この2つはこれからも取り組んでいただきたいです。北欧のような社会をせめて武蔵野市だけでも目指してほしいです。
- ・ 子どもを育てやすい市(保育園に入れなくても保育園入園と同程度の負担で子どもを預けられる制度)健康な人の多い市(小さい時から社会で注意、努力する習慣をつけていく)元桜堤小の有効利用(保育園、学童保育など、子どもに不足している施設、老人に不足している施設の建設はできないのでしょうか。
- ・ 知的障害があり、参加は難しいです。ただ、散歩などしている時、桜の木が切られている事等はどことも気になる様子で、「木を植えて下さい」といつも言っています。(母)
- ・ 無駄のない市政を望む。住み続けられる市政。孫の代まで安心して住めるよう地域により住宅面積率に差がありすぎる。昔と条例が変わり二世帯が建てられない。違法建築の多い中、道1本差で正直者は40%に泣かされている。
- ・ ムーバスは非常に良いアイデアであったと思います。武蔵野市が全国に誇れるような市である事を願います。
- ・ 住民参加の機会を設けて下さり大変ありがたいと思いました。是非とも参加したかったのですが、予定が合わず残念です。有意義なものとなりますようお祈りしております。
- ・ 返信が大変遅くなり申し訳ありませんでした。都合がつく際は参加したいと思っております。
- ・ 返信が遅れ申し訳ありませんでした。
- ・ 武蔵野市にはずっと住む予定です。これから未来の事については大いに興味があります。しかし土曜日、今忙しい時期なので行けません。すみません。

- ・ 武蔵野市に越して来て、およそ半年ですが、自然環境、歴史、住みたい町の1位、発展している商業施設、等々関心はあります。残念ながら今回のイベント2日間共に外せず出席不可です。
- ・ 関心があるのに参加できないのが残念です
- ・ 日頃から意見を持っている人にはよい企画だと思います
- ・ 参加してみたかったのですが、すでに予定があり残念です
- ・ 1000分の1？
- ・ 既に転居しておりますが、旧住所に案内が届いていたので参加を見合わせました。(市内での転居)
- ・ ④参加を承諾される方のアンケートでした。書いてしまって失礼しました。
- ・ 高齢ともなれば参加という事は考えられなくなってきてる
- ・ 老齢なうえに市役所は遠くて残念でございます。市のよい発展の為にこの様な形のワークショップは今後も続けて行かれますように。緑多いよい環境の文化都市武蔵野市の発展を心からねがうものでございます。
- ・ 健康上参加は無理です
- ・ 只今体の調子が悪いので欠席させていただきます。
- ・ 足が不自由なので失礼致します
- ・ 難病(目)の治療中で外出を制限してる。
- ・ 娘が午睡するので、午前中の方が参加しやすいです。夕飯の準備等あり、夕方までの開催だとバタバタしますので、今回欠席にさせてもらいました。ご協力できず申し訳ございません。
- ・ 申し訳ありませんが、何もお役に立つ事はできません。おゆるください。家の中で出来る事しかありません。皆様のご活躍に感謝致しております。
- ・ 今回は日程が合わず参加出来なくて残念です。無作為選出での市民の参加を募る試みには賛同します。様々な年代、職業、家族構成の方々と市の将来を考えることは有意義な事と思います。各テーマについてレポート提出での参加もあると関わりが持ちやすいかとも思いました。
- ・ 今、子供が9ヶ月で丁度人見知りの時期なので、もう少し大きくなっていれば参加したかった。申し訳ありません。

2 その他資料

(1) ワークショップのご案内（新規対象者）

表面

武蔵野市の未来のために みなさんの声を聴かせてください！ ～無作為抽出の市民ワークショップを行います～

こんなことやって
みると、いいんじゃないかな～？

武蔵野市の
未来について

それだったら
こんな意見も
あると思うよ

そのアイデア、
なんだかとても
おもしろそう！



武蔵野市では、平成28年度を初年度とする武蔵野市第五期長期計画・調整計画の策定に取り組んでいます。計画策定に向け、多くの市民の皆様のご意見を伺うことを目的とした無作為に抽出された市民の方々によるワークショップを開催することにいたしました。

今回のワークショップでは、今年7月に実施した「市民意識調査」の結果をもとに、武蔵野市が望ましい都市になるためにはどうしたらいいか、どのようなことが必要か、みなさまからのご意見・ご提案について、グループ内で意見交換していただく予定です。

この機会にぜひご参加ください。

ワークショップって何するの？

今回のワークショップでは、4～5人を1グループとして、グループ内で自由に意見を出し合ってください。その後、グループの意見をまとめて発表します。

長期計画・調整計画とは…

長期計画は、市政運営の基本理念や実施すべき施策などについて定めた市の最も重要な計画です。現在の第五期長期計画の期間は、平成24年度から33年度までの10年間ですが、策定後に生じたさまざまな社会情勢の変化などに対応し、計画の実効性を保つために、調整計画を策定します。



今年5月に実施したワークショップの様子は、市ホームページでご覧いただけます。

※このご案内は、住民基本台帳から18歳以上の市民の方1,000人を無作為に抽出してお送りしています。

1 日時等 *いずれか1日だけでも参加できますが、2日間とも参加できる方を優先します。

	第1日目	第2日目
日時	平成26年11月29日(土) 13:00~17:00(予定)	平成26年12月6日(土) 13:00~17:00(予定)
会場	武蔵野市役所 西棟8階 811会議室 (緑町2-2-28)	
テーマ	市民意識調査のアンケート結果から、武蔵野市の未来を考える	
分野	健康・福祉 (例:高齢者、障害者、医療、心の健康、介護、地域福祉活動、ボランティア、地域の安全・安心、など) 子ども・教育 (例:子育て、保育、学校、青少年、子どもの安全・安心、自然体験、図書館など) 	緑・環境 (例:環境、ごみ、緑化、自然など)  文化・市民生活 (例:商業、観光、防犯・防災、コミュニティ、男女共同、スポーツ、市民文化など) 都市基盤・行財政 (例:まちづくり、ユニバーサルデザイン、道路、上下水道、公共交通、自転車、住宅、行政運営、地域情報、財政運営、公共施設配置、職員など) 

2 謝礼等 1日につき4,000円分のクオカードをお渡しいたします。

3 参加定員数 参加を承諾した方100名
(前回のワークショップに参加し、今回の参加を希望する方を含みます。)

4 参加を承諾される方

(1) 承諾書の返送

参加をご承諾いただける方は、お手数ですが、別紙承諾書にご記入のうえ、同封の返信用封筒によりご返送ください。(平成26年11月12日(水)必着)

(2) 参加者の決定

参加を承諾された方が100名に満たない場合には、参加を承諾された方全員にご参加いただけますが、100名を超えた場合は、抽選により参加者を決定いたします。いずれの場合にも、参加承諾者全員に速やかに結果をご連絡いたします。

(3) その他

参加できる方は、通知のあて先のご本人様のみとなります。ご家族の方などでも代理で参加することはできませんので、ご注意ください。

5 参加を承諾されない方

ご都合により参加されない場合は、お手数ですが、同封しましたアンケートの回答にご協力をお願いします。FAXまたは同封の返信用封筒により、平成26年11月28日(金)までにご返送ください。

6 その他

託児・手話通訳等が必要な方は、承諾書にご記入ください。

★お問い合わせ★

武蔵野市 総合政策部 企画調整課
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

T E L 0422-60-1801

F A X 0422-51-5638

E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp



武蔵野市の未来のために みなさんの声を聴かせてください！

～第2回無作為抽出市民ワークショップを行います～



本年5月は、お忙しい中、無作為抽出市民ワークショップにご参加くださり、ありがとうございました。その際に出されたご意見を参考にしながら、6月から8月までは市民会議を、8月からは第五期長期計画・調整計画策定委員会を開催し、計画の策定に取り組んでいます。

今回のワークショップでは、今年7月に実施した「市民意識調査」の結果をもとに、武蔵野市が望ましい都市になるためにはどうしたらいいか、どのようなことが必要か、みなさまからのご意見・ご提案について、グループ内で意見交換していただく予定です。前回のワークショップに引き続き、もう一度住んでいるまちのことについて、いろいろな方と意見を交わしてみませんか。

皆様のご参加をお待ちしております！

ワークショップって何するの？

今回のワークショップも、4～5人を1グループとして、グループ内で自由に意見を出し合ってください。その後、グループの意見をまとめて発表します。

長期計画・調整計画とは・・・

長期計画は、市政運営の基本理念や実施すべき施策などについて定めた市の最も重要な計画です。

現在の第五期長期計画の期間は、平成24年度から33年度までの10年間ですが、策定後に生じたさまざまな社会情勢の変化などに対応し、計画の実効性を保つために、調整計画を策定します。



今年5月に実施したワークショップの報告書は、市公式ホームページでご覧いただけます。

1 日時等 *いずれか1日だけでも参加できますが、2日間とも参加できる方を優先します。

	第1日目	第2日目
日時	平成26年11月29日(土) 13:00~17:00(予定)	平成26年12月6日(土) 13:00~17:00(予定)
会場	武蔵野市役所 西棟8階 811会議室 (緑町2-2-28)	
テーマ	市民意識調査のアンケート結果から、武蔵野市の未来を考える	
分野	○健康・福祉 ○子ども・教育 	○緑・環境 ○文化・市民生活 ○都市基盤・行財政 

2 謝礼等 1日につき4,000円分のクオカードをお渡しいたします。

3 参加定員数 参加を承諾した方20名
 ※ 今回新たに無作為により選出された方1,000名のうち参加を承諾された方と合わせて、100名の方にご参加いただく予定です。

4 参加を承諾される方

(1) 承諾書の返送

参加をご承諾いただける方は、お手数ですが、別紙承諾書にご記入のうえ、同封の返信用封筒によりご返送ください。(平成26年11月12日(水)必着)

(2) 参加者の決定

参加を承諾された方が20名に満たない場合には、参加を承諾された方全員にご参加いただけますが、20名を超えた場合は、原則抽選により参加者を決定いたします。いずれの場合にも、参加承諾者全員に速やかに結果をご連絡いたします。

(3) その他

参加できる方は、通知のあて先のご本人様のみとなります。ご家族の方などでも代理で参加することはできませんので、ご注意ください。

5 その他

託児・手話通訳等が必要な方は、承諾書にご記入ください。

第五期長期計画・調整計画の策定経過については、市公式ホームページや市報などで随時お知らせしています。

(URL: http://www.city.musashino.lg.jp/sesaku_keikaku/kihonkoso_chokikeikaku/17837/index.html)

★お問い合わせ★

武蔵野市 総合政策部 企画調整課

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

TEL 0422-60-1801

FAX 0422-51-5638

E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp



※ このご案内は、本年5月11日・18日に開催した「第五期長期計画・調整計画 無作為抽出市民ワークショップ」に参加された方へお送りしています。

(4) ワークショップへのご案内 (再送付)

ワークショップへのご案内 (再送付)



晩秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

過日、第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップへの参加についてご案内をお送りしました。

参加の承諾書の返送期限は11月12日(水曜日・必着)となっております。お忙しいとは存じますが、ご都合がつく場合は、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。また、参加されない場合にも、アンケート(11月28日締切)にご協力いただけると助かります。

今後とも、市政にご協力のほどよろしく申し上げます。

日時：平成26年11月29日(土) 13時から
平成26年12月6日(土) 13時から

会場：武蔵野市役所西棟8階811会議

* このハガキは11月6日現在承諾書又はアンケートの返送のない方宛にお送りしています。既に返送いただいている場合は、行き違いですのでご容赦ください。

武蔵野市総合政策部企画調整課
TEL 0422-60-1801 FAX 0422-51-5638
E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

(5) 参加承諾書への通知

表面 (宛名面)

切手

宛名ラベル

〒180-8777 武蔵野市役所 総合政策部 企画調整課

武蔵野市民意識調査報告書【速報版】は市ホームページまたは市役所企画調整課窓口にてご覧いただけます。

http://www.city.musashino.lg.jp/dbps_data/_material/_files/000/000/018/919/shiryo1.pdf

武蔵野市民意識調査報告書【速報版】の
二次元バーコード▶




◀5月に実施した第1回ワークショップの様子はこちら
http://www.city.musashino.lg.jp/sesaku_keikaku/kihonkoso_chokikeikaku/17837/017888.html

裏面

各位

深秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップへの参加のご承諾をいただき、誠にありがとうございます。

ご承諾いただいた方全員にご参加いただくことになりましたので、お知らせします。当日、このハガキをお持ちくださいますようお願いいたします。(なお、当日のご参加はご本人様に限らせていただいておりますので、予めご了承ください)

それでは、ご来場を心よりお待ちしております。

■日時等	内容
11月29日(土) 13時~17時	「健康・福祉」 「子ども・教育」
12月6日(土) 13時~17時	「文化・市民生活」 「緑・環境」「都市基盤」 「行・財政」

■会場：武蔵野市役所
西棟8階811会議室
(緑町2-2-28)

☆吉祥寺駅(北口①のりば)
柳沢駅前行き(武蔵野市役所経由)
「武蔵野市役所」下車

☆三鷹駅(北口①のりば)
北裏、武蔵関駅、田無橋場行き
「武蔵野市役所前」下車

☆武蔵境駅(北口④のりば)
三鷹駅行き「武蔵野営業所」下車徒歩8分



■お問合せ■ 武蔵野市総合政策部企画調整課
TEL 0422-60-1801 FAX 0422-51-5638
E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp
※当日のご連絡は、090-3323-8531 まで

(6) 見学のルール

ワークショップ見学のルール

1 見学の手続

ワークショップを見学しようとする人は、受付で住所および氏名を記入し、入室中は見学者名札を着用するものとします。

2 見学の定員

見学の定員は、原則として10人程度とし、事務局が会場の状況を考慮して決定 します。

3 会場に入ることができない人

- (1) 銃器その他危険なものを所持している人
- (2) 酒気を帯びていると認められる人
- (3) 張り紙、ピラ、旗の類を所持している人
- (4) 笛、ラッパ、太鼓その他楽器の類を所持している人
- (5) 会議を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすと認められる人

4 見学人の守るべき事項

- (1) 一切の発言はできませんので、あらかじめご了承ください。
- (2) 飲食又は喫煙はできません。
- (3) 写真、ビデオ等の撮影又は録音はできません。ただし、特に事務局の許可を得た場合を除きます。
- (4) ワークショップ開催中は、携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定してください。
- (5) その他ワークショップの運営に支障となる行為はしないでください。
- (6) 事務局の指示に従ってください。

5 その他

- (1) 入退室は、進行に支障のないように配慮してください。
- (2) 話し合いの支障となるような行為は厳に慎んでください。
- (3) 見学者は、事務局が会議の進行に支障があると判断した場合又は見学者がこのルールに定める事項に従わない場合で、事務局から退室の指示があったときは、直ちに退室しなければなりません。
- (4) お帰り際には、見学者名札を事務局へご返却ください。

第五期長期計画・調整計画
無作為抽出市民ワークショップⅡ
(平成26年11月29日・12月6日開催)
報告書

平成27年2月

発行 武蔵野市総合政策部企画調整課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話 0422-60-1801